

# 東北大学生のための 国際交流ガイドブック

Tohoku University Study Abroad Guidebook 2018



世界中が、  
キャンパスだ！



TOHOKU  
UNIVERSITY

# 国際交流と 留学のすすめ

Tohoku University Study Abroad  
Guidebook 2018

## Index

- 03** 東北大学からの留学  
大学間学術交流協定校・機関／海外留学プログラム／留学までのロードマップ
- 09** 短期海外研修 (SAP/FL)  
プログラム概要／実施予定プログラム一覧／体験レポート
- 15** 海外体験プログラム／ショートプログラム  
プログラム概要／募集プログラム例／体験レポート
- 17** 交換留学プログラム  
プログラム概要／主な派遣先大学&派遣条件等詳細一覧／体験レポート
- 25** 大学院生派遣プログラム  
プログラム概要／体験レポート
- 29** 学部・研究科主催のプログラム  
プログラム概要／プログラム一覧
- 30** 留学のための各種サポート  
留学相談・情報収集／語学学習・試験
- 35** 学内で国際交流  
海外からの学生との交流／東北大生による国際交流活動団体
- 37** 国際交流・留学サポート  
奨学金情報／学内のサポートオフィス

## 東北から世界各国に広がる協定校ネットワーク。

東北大学では、数多くの世界トップレベル大学・機関との間に「学生交流協定」を締結し、本学独自のグローバルネットワークを構築しています。グローバルラーニングセンターでは、そのネットワークを活かし、さまざまな海外留学プログラムを展開し、海外で学ぶことができる体制を整えています。

### 大学間学術交流協定機関

**36**の国と地域、**222**大学・機関 (2018年1月現在)

#### 欧州地域

##### フィンランド

アアルト大学  
オウル大学  
タンペレ工科大学  
トゥルク大学

##### スウェーデン

ウーメオ大学  
スウェーデン王立工科大学  
ウプサラ大学  
ストックホルム大学  
チャルマース工科大学

##### イギリス

ヨーク大学  
シェフィールド大学

##### オランダ

グローニンゲン大学  
トゥウェンテ大学  
デルフト工科大学

##### イタリア

フィレンツェ大学  
トリノ工科大学  
ナポリ大学  
ペローナ大学  
ミラノ工科大学

##### スイス

スイス連邦工科大学(2校)  
・ローザンヌ校  
・チューリッヒ校  
ジュネーブ大学

##### オーストリア

ウィーン大学  
Ge4 - Global Education: Exchanges for Engineers and Entrepreneurs

##### スペイン

グラナダ大学  
バリアドリッド大学  
マドリッド・コンプルテンセ大学

##### チェコ

チェコ工科大学ブラハ校

##### ドイツ

アーヘン工科大学  
ドルトムント工科大学  
ザールラント大学  
ダルムシュタット工科大学  
ゲッティンゲン大学  
ドレスデン工科大学  
ベルリン工科大学  
ミュンヘン工科大学  
カールスルーエ工科大学  
カイザースラウテルン工科大学  
ハイデルベルク大学  
ヨハネスグーテンベルク大学マインツ  
パダボーン大学  
ケムニッツ工科大学  
レーゲンスブルク大学  
オルデンブルク大学

##### フランス

ソルボンヌ大学  
レンヌ第1大学  
レンヌ第2大学  
グルノーブル・アルプ大学連合  
ストラスブルク大学  
国立応用科学院リヨン校  
ポルドー大学  
国立中央理工科学校(Ecole Centrale) (5校)  
・リール校 ・ナント校  
・リヨン校 ・セントラルスピレック  
・マルセイユ校  
アルピ鉱山大学  
リヨン政治学院  
リヨン高等師範学校  
リヨン第2大学  
コンピエンヌ工科大学  
サンティエニス国立高等鉱山学校  
ポルドー工科大学  
国立東洋言語文化研究大学(INALCO)  
パリ第7大学

##### ポルトガル

リスボン新大学

#### 中近東地域

##### トルコ

イスタンブール工科大学  
エーゲ大学

##### イラン

テヘラン大学

#### NIS地域

##### ロシア

モスクワ国立大学  
ノボシビルスク国立大学  
ニジエゴロド国立大学  
極東連邦大学  
ロシア国立高等経済学院(HSE)  
サンクトペテルブルク国立総合大学

##### ウクライナ

ウクライナ国立工業大学“キエフ工科大学”

#### アフリカ地域

##### モロッコ

ムハンマド5世大学-ラバト

##### 南アフリカ共和国

クワズールー・ナタール大学  
ヨハネスブルグ大学

#### 北米地域

##### カナダ

ウォータールー大学  
オタワ大学  
クイーンズ大学

##### アメリカ

ペンシルベニア州立大学  
カリフォルニア大学(10校)  
・バークレー校  
・デビス校  
・アーヴァイン校  
・ロサンゼルス校  
・マーセド校  
・リバーサイド校  
・サンディエゴ校  
・サンフランシスコ校  
・サンタバーバラ校  
・サンタクルス校

ワシントン大学  
パデュー大学  
アラスカ大学  
コロラド鉱山大学  
シラキューズ大学  
国際教育協会(IIE)  
テンブル大学  
テキサスA&M大学  
ハワイ大学マノア校  
ニューヨーク州立大学オールバニー校  
ノースカロライナ大学シャーロット校  
ケースウェスタンリザーブ大学  
ミシガン州立大学  
メリーランド大学カレッジパーク校  
モンタナ大学  
デンバー大学

#### 中南米地域

##### ベネズエラ

シモン・ボリバル大学

#### 太平洋地域

##### オーストラリア

シドニー大学  
ニューサウスウェールズ大学  
オーストラリア国立大学  
メルボルン大学  
マッコリー大学

#### アジア地域

##### インド

インド工科大学ボンベイ校  
インド科学大学

##### タイ

アジア工科大学院  
スラナリー工科大学  
キングモンクット工科大学ラカパン校  
チュラロンコン大学  
タマサート大学  
チェンマイ大学  
キングモンクット工科大学トンブリ校  
泰日工業大学

##### シンガポール

シンガポール国立大学

##### インドネシア

インドネシア大学  
ガジャマダ大学  
バンドン工科大学  
ボゴール農科大学  
ブラウイジャヤ大学

##### 韓国

全北大学校  
ソウル大学校  
揚州大学  
光州科学技術院  
釜慶大学校  
浦項工科大学校  
韓国科学技術院  
忠南大学校  
慶北大学校  
嶺南大学校  
東義大学校  
朝鮮大学校  
高麗大学校  
国立昌原大学校  
西江大学校  
延世大学校  
釜山大学校  
国立公州大学校  
中央大学校  
慶熙大学校  
成均館大学校  
国民大学校  
韓国科学技術研究院

##### 台湾

国立台湾大学  
国立中正大学  
国立成功大学  
国立交通大学  
国立中興大学  
国立清華大学  
国立政治大学  
東吳大学  
国立中央大学

##### モンゴル

モンゴル科学技術大学

##### スリランカ

モラトゥワ大学

##### ベトナム

ベトナム国立大学ハノイ校  
貿易大学  
ホーチミン市工科大学

##### 中国

東北大学  
中国科学技術大学  
清華大学  
南京大学  
北京大学  
吉林大学  
浙江大学  
復旦大学  
武漢理工大學  
重慶大学  
同済大学  
中国海洋大学  
北京科技大学  
南京航空航天大学  
廈門大学  
華中科技大学  
西安交通大学  
華東師範大学  
北京航空航天大学  
蘭州大学  
天津大学  
大連理工大学  
揚州大学  
東南大学  
上海交通大学  
北京工業大学  
北京郵電大学  
香港科技大学  
上海海洋大学  
中国地質大学(武漢)  
香港城市大学  
東北財経大学  
上海大学  
西南大学

##### 台湾

国立台湾大学  
国立中正大学  
国立成功大学  
国立交通大学  
国立中興大学  
国立清華大学  
国立政治大学  
東吳大学  
国立中央大学

##### マレーシア

マラヤ大学

部局間交流協定機関 **60の国と地域、494機関** (2018年1月現在) ※協定機関の詳細はホームページをご覧ください。

・学術交流協定機関一覧:東北大学HP ▶ 国際交流 ▶ 学術交流協定締結校 <http://ie.bureau.tohoku.ac.jp/partners>

※本ガイドブックでは、一部の国・地域について一般的に使われている呼称と旗を慣習に従い使用しています。

学びの目的や期間など、  
希望に合わせて選べる  
多様な海外研修・  
留学プログラムがあります。



### 短期海外研修(SAP/FL)

▶ P09-14

海外に行くのが初めての方、長期留学をためらっている方、長期留学の前に語学力を強化し、異文化適応能力を身につけておきたい方、専門分野を海外で学びたい方などのさまざまな要望に応えるプログラムです。学期末の休みを利用した短期間の研修ですので、授業への影響や留年の心配はありません。内容はプログラムによって異なりますが、現地学生や留学生との交流なども盛り込んでおり、学期末の休みを有効に使うことができます。

派遣地域・大学	アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スペイン、ロシア、マレーシア、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドなどの教育機関
期間	2～5週間(夏・春)
参加対象	全学部・研究科の学生(学部生優先)

### 海外体験プログラム/ショートプログラム

▶ P15-16

半年や1年間の留学は難しいという方には、本学または協定校等が主催する海外体験プログラム、ショートプログラムがおすすめです。さまざまなプログラムの中から、自分にぴったりのものを見つけてください。

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした世界各国の大学
期間	海外体験プログラム:2週間程度以上 ショートプログラム:1～8週間程度
参加対象	プログラムにより異なる

### 大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

▶ P17-24

短期海外研修等を経験し、より長期にわたる留学を目指す方や、語学学習だけでなく、自分の専門について海外の大学で学びたい方向けの海外留学制度です。留学先は、世界中の協定校から選ぶことができます。

派遣地域・大学	36の国と地域222校(▶ P03-04)
期間	1学期～1年間
参加対象	全学部・研究科の学生

### COLABS(自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム)

▶ P25-26

自然科学系の研究科に所属する大学院生(または進学見込みの学部生)で、海外の大学や研究機関で研究を行いたい、海外の研究者との学術的ネットワークを築きたいなど、研究を主目的とした海外留学を検討している方向けのプログラムです。留学期間は、最短10日間から、最長1年間までです。大学院での研究スケジュールにあわせて時期や期間、留学先を選ぶことができます。

派遣地域・大学	主に大学間協定機関または部局間協定機関
期間	10日～1年間
参加対象	自然科学系研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む (6年制課程の学部については5年生以上)

自然科学系研究科

理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学系研究科、環境科学研究科、医工学研究科



### ダブルディグリー(共同教育)プログラム

▶ P27-28

ダブルディグリー(共同教育)プログラムは、フランス、スウェーデン、または中国のトップクラスの提携校と本学に在籍し、提携校における修士レベルの学位および本学の修士号の取得を目指すプログラムです。理工系の分野で、国際的環境のもと、研究者としての力や国際性を伸ばすことが期待できます。

派遣地域・大学	フランス	国立中央理工学校(Ecole Centrale)5校 国立応用科学リヨン校(INSA Lyon)
	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学
中国	清華大学	
期間	1年半程度	
参加対象	一部の自然科学系研究科の 博士前期課程に進学予定の学生 (派遣先により派遣時期、対象学部・学科が異なる)	

### 上海交通大学との Fostering of Global Human Resources プログラム

大学院学生を対象とした、中国でもトップクラスの上海交通大学に交換留学または学位留学するプログラムです。専門知識や研究能力だけでなく、世界の中心となりつつあるアジアにおいて活動する総合的な力の養成が期待できます。本プログラムの参加者には留学期間中、上海交通大学から奨学金が支給されます。

派遣地域・大学	中国 上海交通大学
期間	交換留学:1学期～1年間 学位留学:2～3年
参加対象	全研究科の大学院生

### UCB大学院生プログラム

研究・教育ともに世界トップレベルであるカリフォルニア大学バークレー校(UCB)への大学院生向けプログラムです。UCBの研究室での、研究活動や論文執筆、また授業履修を行うことが可能です。希望者は学内募集を経ず、直接UCB以下サイトを参照し申請を行います。

派遣地域・大学	アメリカ カリフォルニア大学バークレー校
期間	1学期～1年間
参加対象	全研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む

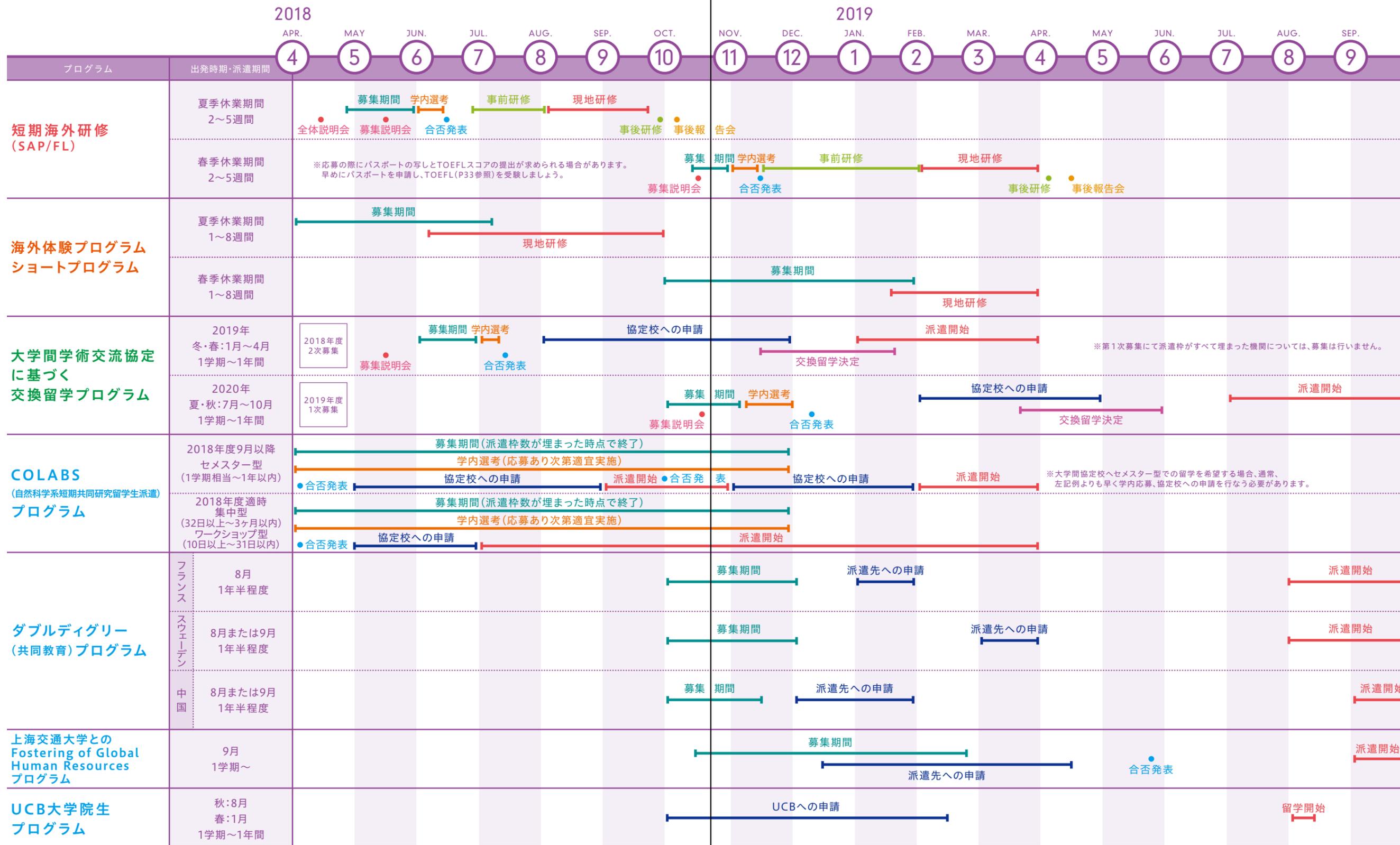
☞ <http://vspa.berkeley.edu/>  
☞ [http://extension.berkeley.edu/static/student-services/concurrent/#international\\_applicants](http://extension.berkeley.edu/static/student-services/concurrent/#international_applicants)

### 学部・研究科主催のプログラム

▶ P29

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、学部・研究科が独自に留学プログラムを実施している場合があります。

希望のプログラムが見つかったら、さっそく準備を始めましょう。



東北大学からの留学  
短期海外研修(SAP/FL)  
海外体験プログラム  
交換留学プログラム  
大学院生派遣プログラム  
学部研究科主催のプログラム  
留学のための各種サポート  
学内で国際交流  
国際交流・留学サポート

## 短期海外研修(SAP/FL)

スタディアブロードプログラム(SAP)とファカルティレッドプログラム(FL)は、長期休業(春・夏)を利用して、語学力を磨き、アカデミックスキルを高めることを目的とした海外研修プログラムです。参加学生は、プログラムのテーマに沿った体験学習や、特色ある英語講座に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに現地学生やコミュニティーメンバーとの交流、ホームステイなど、日本では得られない貴重な体験を通じて、語学の運用能力を高めるだけでなく、国際的な視野を育むことが期待できます。

<b>奨学金情報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月額6~8万円の奨学金(派遣先により異なる)が支給される可能性あり。</li> <li>学部生に限り、1プログラム当たり平均20万円/名のプログラム費の一部を、東北大学が負担。</li> </ul>
<b>派遣地域・大学</b>	アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スペイン、ロシア、マレーシア、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドなどの教育機関
<b>期間</b>	2~5週間(春・夏)
<b>参加対象</b>	全学部・研究科の学生(学部生優先)

## 2018年度スタディアブロードプログラム(SAP)実施予定プログラム一覧

### 海外初心者向けプログラム

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
カリフォルニアで学ぶ多文化・多民族社会	【アメリカ】カリフォルニア大学リバーサイド校	夏および春 【3週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化社会が浸透している地域、カリフォルニア・ロサンゼルス近郊のリバーサイドでの研修</li> <li>アメリカにおける「多文化主義」について幅広く、様々な視点から学ぶ</li> <li>実践的な英語研修及びテーマに関連する場所へのサイトビジットやアクティビティ</li> <li>現地学生との豊富な交流活動やホームステイを通じて異文化理解を深める</li> </ul>
ハワイで学び体験する文化と歴史	【アメリカ】ハワイ大学マノア校	夏 【3週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハワイの文化や歴史をテーマとした講義</li> <li>フィールドトリップ、現地学生との交流</li> <li>ホームステイを通じて、ハワイ家庭の生活・文化体験および英語力の向上</li> </ul>
オーストラリアで学ぶ実践英語	【オーストラリア】ニューサウスウェールズ大学	夏および春 【5週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身のレベルに合ったクラスで実践的な英語力を鍛える</li> <li>多様な文化背景を持つ人々の街、シドニーでホームステイ</li> <li>現地学生や地元住民との様々なプロジェクトの実施</li> </ul>
マレーシアで学ぶ英語とマレーシアの歴史・社会・文化	【マレーシア】マラヤ大学	夏 【3週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な英語力を身につけるための研修</li> <li>マレーシアの歴史・社会・文化を学ぶ授業</li> <li>現地学生および他国からのコース参加留学生との交流</li> </ul>

### テーマ学習に取り組みたい学生向けプログラム

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
ベトナムで学ぶ文化と国際ビジネス	【ベトナム】貿易大学	夏 【3週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムの社会科学系でトップクラスの大学である貿易大学での研修</li> <li>ベトナムの産業構造や社会問題について英語で学ぶ</li> <li>日系企業訪問や文化体験、世界遺産へのフィールドトリップ</li> </ul>
インドネシアで挑戦するインターンシップ	【インドネシア】インドネシア大学	春 【4週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>インドネシアの社会やビジネスを英語で学ぶ</li> <li>基礎インドネシア語の実践的講座</li> <li>現地日系企業(イオン・インドネシア)主導によるインドネシア大生との共同インターンシップ</li> </ul>

### 実践的な英語力の向上を目指す学生向けプログラム(交換留学準備)

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
ニュージーランドで学ぶ実践英語	【ニュージーランド】オークランド大学	春 【5週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身のレベルに合ったクラスで世界各地から集まる学生と共に学ぶ</li> <li>ディスカッションやプレゼンテーションなどを取り入れた実践的な英語運用力を強化するプログラム</li> <li>オークランド大学の日本語専攻の学生やホームステイ家族など、現地の人々との交流</li> </ul>
カリフォルニアで学ぶ実践英語	【アメリカ】カリフォルニア大学サンディエゴ校	春 【4週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリフォルニア南部、メキシコに隣接する都市・サンディエゴの名門校での研修</li> <li>自身のレベルに合ったクラスで多国籍の学生と共に学ぶ英語研修</li> <li>現地学生(Conversation Leader)との会話を通じたコミュニケーションスキルの向上</li> </ul>

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
ニューヨークで学ぶ実践英語	【アメリカ】ニューヨーク州立大学オールバニー校	春 【4週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニューヨーク州都、オールバニーにある総合大学付属語学学校で多国籍の学生と共に英語を学ぶ</li> <li>東北大生のために開発された授業を通してアメリカ文化について学ぶ</li> <li>日常的に必要な英語力を強化するための研修</li> </ul>
カナダで学ぶ実践英語	【カナダ】サイモンフレイザー大学	春 【4週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に必要なアカデミックイングリッシュスキルを強化する英語研修</li> <li>カナダ学や異文化間コミュニケーションについて学ぶ授業</li> <li>ホームステイを通じたカナダの多文化社会の体験及び生きた英語の習得</li> </ul>
カナダで学ぶ英語と文化体験	【カナダ】ウォータールー大学	夏および春 【4週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に必要な英語力を強化するための研修</li> <li>英語イマージョン教育を通じてカナダ文化について学ぶ授業</li> <li>ウォータールー大学の学生やホームステイ家族との交流</li> </ul>
イギリスで学ぶ実践英語	【イギリス】シェフィールド大学	春 【4週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身のレベルにあったクラスで4スキル(読む、聞く、書く、話す)を集中して学ぶ英語研修</li> <li>多国籍の学生と共に取り組む授業内および課外活動での国際交流</li> <li>ホームステイを通じたイギリス生活・文化体験及び英語力向上</li> </ul>
イギリスで学ぶ英語と文化	【イギリス】ヨーク大学	春 【4週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>IELTS受験対策講座と現地でのIELTS受験</li> <li>基礎から実践的なレベルまで高める集中英語研修</li> <li>授業やホームステイを通じて将来役立つEmployabilityを伸ばし、イギリスの文化を体験</li> </ul>

## 2018年度ファカルティレッドプログラム(FL)実施予定プログラム一覧

プログラム名	派遣国・大学	期間	研修内容
CHaNGE Summer Program: Canadian Heritage and Nature Group Experience	【カナダ】マギル大学 他	夏 【2週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>モントリオール、オタワ地域でマギル大学及びオタワ大学で歴史や文化を英語で学ぶ</li> <li>自然環境や気候変動についてモントリオール工科大学、ウラノス、オタワ大学で研修する</li> <li>歴史、文化、自然環境に関して現地学生と共にフィールドワークを行う。大自然の中2泊3日、野外で動物や植物を観察する</li> </ul>
アメリカの南部で学ぶサブカルチャーとアイデンティティ	【アメリカ】ノースカロライナ大学シャーロット校	夏 【2週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を通じて、歴史、多文化交流、生活が、アメリカ南部の文化に及ぼした影響を学ぶ</li> <li>先住民(インディアン)やアフリカン・アメリカンの文化を体験する</li> <li>現地学生、教員との交流を通じて、知識・理解を実践的に深める</li> </ul>
モンタナで学ぶサステナブルな社会	【アメリカ】モンタナ大学	夏 【2週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>1000種類以上の動植物が生息する壮大なグレイシャー国立公園やかつての炭鉱でのフィールドワークを通して、モンタナの大自然の中で環境、気象について英語で学ぶ</li> <li>世界最大の恐竜化石コレクションを誇るロッキーマウンテン博物館で生態学に触れ、ネイティブアメリカンの歴史と文化を学ぶ</li> <li>現地学生とアウトドアライフに親しみ、アメリカ特有の文化活動を通して交流を深めると同時にコミュニケーション力の向上を図る</li> </ul>
スペイン語とスペイン文化理解・体験「Interacción」	【スペイン】マドリッド・コンプルテンセ大学	春 【2週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>スペイン語とスペイン文化について学ぶ</li> <li>学生が自身の学びや現地研修に積極的に向き合い「自分の留学をデザイン」できるプログラム</li> <li>現地学生・留学生との交流による相互理解と異文化理解を実践的に深める</li> </ul>
課題解決型のフィールドワークを通して「ドイツ」に学ぶ	【ドイツ】パダボーン大学 他	春 【2週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ドイツと移民」をテーマに、それぞれの関心に沿った課題を設定し、セミナー、現地学生との協働プロジェクト、フィールドワークを通じた学習を行う</li> <li>パダボーンを中心に、ドイツ国内の複数の大学や都市を訪問し、言語・文化交流を通じてドイツに対する理解を深める</li> <li>現地の学生と協力して「Japan Night」を企画し、大学関係者や地域の人々に対して日本を紹介する</li> </ul>
Tohoku University Cross-Cultural Program with Russia	【ロシア】モスクワ国立大学	春 【2週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ロシアの再認識」をテーマに、それぞれの関心に沿った課題を設定し、講義、現地学生との協働プロジェクト、フィールドワークを通じた学習を行う</li> <li>言語、文化、歴史などロシアに関する講義を受講した後、美術館や博物館など、講義と連動した場所を視察することでロシアに対する理解を深める</li> <li>現地学生や日本語を学ぶ社会人との交流を通じて異文化理解、相互理解を深める</li> </ul>
メルボルンで学ぶ多様性と多文化社会	【オーストラリア】メルボルン大学	春 【2週間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリアの多文化主義政策が社会に与えてきた影響を体験を通して学ぶ</li> <li>メルボルンの日本企業、日本人経営者、多文化社会の理解のために活躍する日本人との対話を通してグローバル社会への考察を深める</li> <li>現地学生や教職員との交流を通じて日本を紹介し、異文化理解を深める</li> </ul>

※上記は平成30年2月現在の情報であり、変更の可能性があります。詳細は、5月(夏プログラム)と10月(春プログラム)にグローバルラーニングセンターHPに掲載予定です。  
※学生1人当たりの自己負担金額(授業料の一部、渡航費、滞在費、海外旅行保険、ビザ取得料など)は、20万円から40万円程度で、プログラムにより異なります。

## オーストラリアで学ぶアカデミック・イングリッシュ



派遣国 オーストラリア  
派遣大学 ニューサウスウェールズ大学  
開催期間 2017年 2月～3月

刺激的な環境での学習と、  
現地学生とのつながりが  
大きな財産になりました。

### SAP参加のきっかけ

入学前海外研修への参加がきっかけで、本格的な留学経験を積むために交換留学を目指しています。その準備として海外生活に慣れることと英語力の向上を目的にSAPに応募しました。大学の授業聴講ができ、現地学生との交流が多いと聞いてUNSWを選びました。

### 刺激的な英語クラスと授業聴講

留学生と日本人学生半半ずつくらいの少人数クラスで、英語の授業を1ヶ月間受講しました。生徒が意見を求められる場面が多いアクティブなスタイルの授業でした。同じクラスの留学生たちは皆英語が流暢で、私は自分の意見がなかなか言えず負い目を感じました。そんな中必死で食らいつこうと努力することで、英語力を伸ばせたのではないかと思います。UNSWでの授業聴講では、速い英語と専門用語に苦しめられほとんど理解できず、自分の英語力の未熟さを実感しました。ただ、英語で学問をするということの面白さを知って交換留学へのモチベーションが上がったほか、オーストラリアではベクトルを大学で初めて習うなどの驚きの事実を知ることができるなど、いい経験になりました。

### 現地での生活と現地学生との交流

夕方以降と土日は自由な時間が多く、現地学生の家に行ったり、一緒に出掛けたりと積極的に交流しました。日本語を話せない学生との日帰り旅行や、日本人が自分一人という状況での夕食会などはものすごく良い経験で、英語力も行動力も高まった気がしました。ホームステイ先で出会ったハウスメイトとは今でも連絡を取り合っています。さらに、先日現地で仲良くなった学生が仙台を訪ねてきてくれ、再会を果たしました。外国の大学に人脈ができたことがSAPの一番の魅力だと感じています。また、1ヶ月以上現地に滞在することで、現地生活が日常のようになる経験ができたのも大きな経験でした。その結果、日本を客観視できたように思います。眼鏡を壊して眼鏡屋で修理してもらったときには、いかに日本の生活が快適か、サービスの質が高いかに気づかされました。

### 最後に

SAPを通し、現地学生と東北大生に素晴らしい仲間が増えました。また、刺激的な環境での学習で交換留学へのモチベーションがさらに高まりました。今回学んだことを活かして、交換留学の準備を進めていこうと思います。

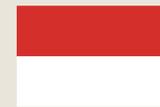
工学部  
学部1年(SAP参加時)  
小林 直裕 さん



### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	登校	授業(英語クラス)			昼食	授業聴講or観光・交流			夕食	自由時間						就寝		

## インドネシアで学ぶ文化と国際ビジネス



派遣国 インドネシア  
派遣大学 インドネシア大学  
開催期間 2017年 2月～3月

インドネシアで多種多様な  
価値観に触れ、揉まれたことで、  
狭い世界から踏み出す勇気が  
備わりました。

### SAPインドネシア研修に応募したきっかけ

私はもともと留学に興味があり、留学先として、学部の授業で触れる機会の多い開発途上国を考えていました。加えて、英語以外の言語に触れてみたい気持ちもあったため、第一言語が非英語圏の国を探していました。インドネシアのプログラムは、座学のほかに日系企業のインターンシッププログラムも含まれており、他のプログラムに比べて非常に活動的であったことも魅力に感じ、応募することを決めました。

### 研修で得たこと

私が研修で得たものの中で、特に研修後の自分に大きな変化をもたらしたものは、異文化、とりわけ宗教に対する興味・理解が深まったことと何事にも恐れない行動力です。

インドネシアは世界一イスラム教徒が多い国ですが、国教はイスラム教ではないため、街中には多様な宗教が共存しています。しかし、異なる宗教を信仰する国民には「他人の幸せを自分の幸せ」と思う共通した意識が根付いており、日々の何気ない発言や所作にその気持ちが表れています。私はインドネシアで生活するうちに、自分の見識が狭かったことに気が付き、宗教に対する認識が「心の拠り所」というものから「私たちの生活を豊かにする」ものへと変わりました。ある学生の「宗教があるからこそ、私達は幸せに暮らせる」という言葉が今でも印象に残っています。

インターンシップでは、現地の学生と日本人学生とで4人グループを作って活動しました。街頭アンケートをとったときは、インドネシア語で話しかけ、相手に信頼してもらうことに苦労しました。しかし、自分たちのことをどのように説明すれば信頼してもらえるのかをメンバーと一緒に考え、実行、反省、実行を繰り返しました。この経験を経て、何事にも恐れず挑戦する勇気と行動力がついたと感じています。

### 研修を終えて

私はこの1ヶ月で新しい自分に出会うことができました。意識の高い現地の学生に刺激を受け、現在は自分も国際力の高い人材になれることを目指しています。SAPはサポートが充実しているので安心して渡航することができます。皆さんも、この機会に新しい世界へ足を踏み入れてみませんか。

農学部  
学部3年(SAP参加時)  
三浦 祐未 さん



### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	朝食	登校	授業		昼食	授業					帰宅	自由時間		夕食	入浴	就寝		

東北大学からの留学

短期海外研修(SAP)レポート

海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

## Tohoku CHaNGE summer program 2017



派遣国 カナダ  
派遣大学 マギル大学、オタワ大学 他  
開催期間 2017年9月

This Program definitely  
CHANGED my way  
of thinking.

工学部  
学部1年 (FL参加時)  
阿部 瑞樹さん



### FL CHaNGE Programに参加したきっかけ

私は高校時代アメリカに派遣された経験があり、そこで体験したレクチャーと学生の意識の高さから、近い将来学位留学をしたいと考えています。FL CHaNGE Programはカナダの文化や環境問題に関して、レクチャーとフィールドワークを中心に学ぶことを目的としており、自身の糧になると考え、参加を決めました。

### 私が学んだこと—カナダの環境の理解・将来への示唆—

私がカナダで学んだことは複数ありますが、中でもカナダの自然環境について知ったこと、レクチャーから自身の将来について考えた経験が特に印象的でした。私達はKenauk Natureという自然保護区とオタワ大学で開催されたフィールドワークでカナダの自然に触れる機会がありました。カナダの独特な地形とそこに生息する豊かな生命に触れ、その多様性に驚きました。また、カナダで気候変動に関する研究を行っている企業のOuranosの訪問では、気候変動の状況とそれに対応するインフラストラクチャーについて学びました。さらにモントリオールでは、カナダ独特の生態系や世界の環境問題を題材とした博物館に赴き、それらに対する理解を深めました。このような機会を通して自然環境とそれに対する取り組みなどに関して理解を深められたと考えています。

Polytechnique MontrealでのLife Cycle Assessment (LCA) と Multi-Criteria Decision Making (MCDM) に関するレクチャーは私の将来に対する示唆を与えてくれました。LCAとは生産過程における環境への影響を科学的に評価する考え方、MCDMとは環境への影響と製品の競争力・利益などの様々な要素を考慮して意思決定をしていく考え方です。私はこのような考え方について学んだことが無かったので、非常に参考になりました。私はこの知識が将来技術者として活躍する為の示唆となることを確信しています。

### FLプログラムはこんな人におすすめ

英語を使って学びたい人/海外フィールドワークを体験したい人/交換留学・学位留学に興味がある人/将来について考えたい人

### 最後に

私は今回のプログラムに参加して、自身の考え方がいろいろな点において、変わりました。このような素晴らしい機会を得ることができて本当に良かったと思います。FLプログラムに限らず、東北大学では様々なプログラムが用意されています。自分の目的や意思を考慮して、プログラムに参加してみてください。

### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	
起床	朝食・準備・移動	レクチャー・活動	昼食	フィールドトリップ・活動	夕食	博物館訪問などの活動	翌日の準備・自由時間	就寝												



## 課題解決型フィールドワークを通して「ドイツ」に学ぶ!



派遣国 ドイツ  
派遣大学 パダボーン大学 他  
開催期間 2017年 3月

たった2週間、  
されど大いに  
価値ある2週間。

歯学部  
学部2年 (FL参加時)  
佐藤 友美さん



### FLドイツに応募した理由

高校時代のアメリカ留学、大学入学後のオーストラリアやタイへの留学を経験したことから、語学習得も、そしてディスカッションやプレゼンスキルも磨けるこのプログラムに非常に魅力を感じました。2回目のドイツ留学でしたが、観光だけではなく現地の学生と交流ができること、世界で話題になっている「移民問題」について自分たちの目で見て取り組めることに、とても興味と関心があり参加を決めました。

### ドイツで学んだこと

多方面でスキルアップができるのはFLの大きな魅力であると言えます。例えば、日本ではあまり身近に感じない「移民」に関わる問題について、現地の方の意見や専門家からの見解を伺い、自身の視野が大きく広がったように感じます。

また、電車やバスに乗っている時もフィールドトリップの時も、効果的なプレゼンの方法や、より説得力のある話し方を皆で夢中になって話し合いました。頑張っただけでやり遂げたプレゼンに拍手と称賛の声をもらった時は涙が思わず出てきそうなくらい嬉しかったことを思い出します。

さらに、現地学生の英語力の高さに刺激され、よりアカデミックな内容を英語で意見交換ができるようになりたいと思いました。帰国後も現地学生と積極的に連絡を取り合い、将来を見据えた明確な目標や課題に向かって、さらなるモチベーションを持つきっかけとなったとても良い機会でした。

### 大いに成長できた2週間

日頃の学生生活では得られない経験に加え、課題を向上心を持って一心にやり遂げた意義は、これからの人生においても非常に大きいものと感じています。2週間で成長した自分、共に支え合った世界の仲間たちと有意義に過ごした時間はこれからも宝となるでしょう。短期間でしたがとても内容の濃い、充実した留学経験でした。

### こんな人におすすめ

課題の決定から、調査方法、インタビューのセットアップまで、すべて自分たちでするFLプログラムは、日本国内外を問わず、貴重な機会であると思います。その中でも学生として、専門家と意見を交換できることは、今後世界で活躍する上で大切な交渉する力を鍛えることができると考えています。世界との交流を持っている東北大学だからこそできる経験であり、将来の可能性を大きく広げたい人には是非体験していただきたいプログラムです。

### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	
睡眠	起床	朝食・移動	授業	ディスカッション	昼食	フィールドワーク	移動	夕食	自由時間	プレゼンの準備	就寝									



## 海外体験プログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや大学間学術協定校等が、夏や春の長期休暇期間中に実施する2週間程度以上の短期プログラムに、東北大学での事前・事後研修を組み合わせましたものです。  
積極的にこの機会を利用して、海外の学生とのネットワークを広げてください。

奨学金情報 | 成績優秀者に月額6~10万円の奨学金を支給予定(▶ P37 JASSO奨学金)

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学	期間	2週間程度以上
参加対象	プログラムにより異なります		
単位	全学教育科目「海外研修(展開)」 2単位 ※本学で実施する事前・事後研修への参加必須		

### 2017年度募集海外体験プログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
2017 Chinese Summer Program	台湾	国立中興大学	3週間	8月	中国語の授業、中国文化の体験、フィールドトリップなど
2017 Summer Program in Taiwan	台湾	国立中央大学	2週間	8月	現地学生と共に、中国語・台湾文化の授業、フィールドトリップ
TNIサマープログラム2017	タイ	泰日工業大学	2週間	8・9月	英語・日本語で行われる授業、ホームステイ、フィールドトリップ、文化体験
スカンジナビア研修2017	フィンランド	オウル大学	3週間	8・9月	スカンジナビアに関する歴史・文化・言語を学ぶ授業、フィールドトリップ、文化体験
CuriousU	オランダ	トゥウェンテ大学	2週間	8月	様々なコースから選択し、世界各国から集まった学生と英語で学ぶ
グローバルプロ養成プログラム、カリフォルニア・イノベーション研修	アメリカ	US-JAPAN FORUM	4、2週間	8・9月	米国シリコンバレーの大学・企業等で文化・専門知識を学ぶ。グローバルプロ養成プログラムのみインターンシップ研修もあり。

※2018年度募集のプログラムは、上記記載のものから変更の可能性があります。プログラムにより募集時期が異なりますので、募集情報は所属の教務係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自収集を行ってください。

## ショートプログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや、大学間学術交流協定校等が実施する1~8週間程度の短期プログラムのうち、「海外体験プログラム」に含まれないものです。

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学	期間	1~8週間程度
参加対象	プログラムにより異なります		

### 2017年度募集ショートプログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
[APRU] Undergraduate Leaders' Program	ロシア	極東連邦大学	2週間	夏	現存するグローバルな問題についての解決策を、英語で議論
[AEARU] International Summer Institute	韓国	ソウル大学校	4週間	夏	韓国語及び様々なコースから選択して学ぶ
Summer program 2017	フランス	レンヌ第2大学	3週間	夏	レベル別クラスでフランス語の集中講座

※[APRU]と[AEARU]のプログラムは、東北大学から渡航費の一部補助があります。  
※2018年度募集のプログラムは、上記記載のものから変更の可能性があります。プログラムにより募集時期が異なりますので、募集情報は所属の教務係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自収集を行ってください。

## 海外体験プログラム参加レポート

### ▶ 2017 Summer Program in Taiwan



医学部  
学部1年(留学開始時)  
**高林 健人**さん  
派遣国 台湾  
派遣大学 国立中央大学  
留学期間 2017年8月

#### 現地に行くことでしか味わえない経験がたくさんありました。

私はサマープログラムで台湾の国立中央大学に行き、中国語の勉強はもちろんですが、それ以外にも現地の学生や他大学から参加している日本人学生たちとふれあったり、台北の観光名所を巡ったり、太極拳や台湾風の女装などの台湾の文化に触れたり、2週間という短い間でしたが、たくさんの経験をすることができました。

今回の経験から私が学んだことは、実際に行ってみなければわからないことだらけだということです。私は台湾に行く前にインターネットや本で下調べをしていたため、台湾がどのような国なのかは多少は心得ているつもりでした。しかし、食文化や思想等、自分で見聞きして初めて台湾について本当に知ることができた気がしました。事前に私が調べた情報は間違っていないのですが、実際に経験することでしか台湾の食文化や国民性、夜市の雰囲気などは実感できないし、私が今回交流したのは若者がほとんどだったため、出回っている従来の台湾の情報とは思想や文化にかなりズレがあるとも感じました。

留学後も台湾で出会った国内外の友達とは交流があり、一生の仲間ができました。今回のプログラムは実際に現地に行き体験することで知見を広げることができた素晴らしいものであったと思います。



#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
起床	朝食	授業		昼食		文化体験		夕食		自由時間									就寝

### ▶ CuriousU



文学部  
学部2年(留学開始時)  
**谷口 奈央**さん  
派遣国 オランダ  
派遣大学 トゥウェンテ大学  
留学期間 2017年8月

#### オランダでかけがえのない10日間を過ごすことができました。

サマーキャンプのようなプログラムと、様々な国の人と共に自分が選んだコースで勉強できる点に魅せられて、この短期留学を申し込みました。自然豊かで、かつ、現代的なオランダのエンschedeにあるトゥウェンテ大学のキャンパスで、私は10日間、心理学を学びました。40カ国以上から、300人以上の学生が集まり、一日中共に過ごし、たくさんコミュニケーションをとることができたのが、このプログラムの1番の魅力でした。授業はディスカッションやプレゼンテーションも多く含まれており、なかなか発言できず戸惑うこともありましたが、できることから少しずつやってみようという精神で頑張りました。授業以外の時間にも、ビーチバレーやバンドナイト、BBQなど毎日たくさんのイベントがあってとても楽しかったので、毎日参加していました。このように世界中の学生と毎日を共に過ごしていたので、多様な価値観を持つ人達と、とても親密な関係を築くことができました。授業がない日には、アムステルダムやドイツのミュンスターへ学生達と旅行に行くほど仲が良くなり、今でも連絡を取り合っています。

東北大学の日本人として一人で参加したということもあり、交換留学を考えている身としても、貴重な第一歩となったと考えています。かけがえのない友達を手に入れることができたこと、英語でアカデミックなことを話せるようになったこと、一人で海外へ行き、生活することで自信と勇気が身についたこと、どれも素晴らしい経験になりました。

#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	朝食・ゲストスピーカーのお話	授業		昼食とアクティビティ		授業		自由時間		夕食		アクティビティ		自由時間				就寝

## 大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

東北大学と大学間学術交流協定を結ぶ海外の大学へ、1学期または1年間留学する制度です。本学の学部学生および大学院生を対象としています。東北大生としての学生生活の一部を、海外の大学で過ごし、現地の学生とともに専門教育を学びます。それだけでなく、課外活動などを通じて日本にいては得られないさまざまな経験を積むことができる制度です。

### Merit 01

### 単位互換の可能性

留学期間も休学する必要はなく、東北大学の在籍期間としてみなされます。また、留学先の大学で取得した単位を東北大学の単位として認定することも可能<sup>※1</sup>です。そのため、1学期または1年間にわたって留学した場合でも、留年せずに卒業できる可能性<sup>※2</sup>があります。

※1 履修予定の授業の単位互換認定については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。

※2 標準修業年限内での卒業を目指す場合の留意事項については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。

### Merit 02

### 授業料免除

多くの大学との協定において、留学先の大学は交換留学生から授業料を徴収しないことを定めています。ただし、留学期間中も東北大学に授業料を納める必要があります。また、一部の大学では授業料を徴収されます。

### 学内の募集時期と応募条件(予定)

#### 募集時期

6月と10月 ※ただし、協定校への申請締切は異なります。

#### 語学要件

応募に当たり、各協定校に語学要件の定めがある場合は学内応募の時点でその基準を満たす必要があります。定めがない場合、英語で授業を受ける予定の学生は、応募時点でTOEFL ITP500以上あることを条件とします。英語以外の言語で授業を受ける場合は、語学検定試験などにより、「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」に照らし、A2相当を取得していることを条件とします。

#### 派遣地域・機関

36の国と地域、222大学・機関 ※学生交流協定締結機関のみ(▶P03-04)

#### 期間

1学期～1年間

#### 参加対象

全学部・研究科の学生

#### 奨学金情報

各種奨学金の応募が可能(▶P37)

### 【申請から渡航までの流れ】

※時期は P07-08 参照

#### 学内応募

1次募集:10月上旬～11月上旬  
2次募集:6月上旬～6月下旬

#### 学内選考

1次:書類選考  
2次:面接選考

#### 留学内定

#### オリエンテーション

参加必須

#### 留学先への申請

受入許可を取得

#### 渡航準備

査証取得、海外旅行保険加入、所属部局での手続き(学籍異動等)など

#### 留学開始(渡航)



## 主な派遣先大学&派遣条件等詳細一覧

### 〈北米〉

 <p>カナダ オタワ大学 University of Ottawa</p>	<p>指導言語 英語・フランス語</p> <p>語学条件 英語:TOEFL iBT86(Writing 22以上), IELTS6.5(Writing 6.5以上)※Faculty of Law, Common Lawは要確認 フランス語:DALF C1またはC2,DLF&amp;TEF&amp;TCFはB2</p>	<p>学年暦 ①9月～12月 ②1月～4月</p>
 <p>カナダ クイーンズ大学 Queen's University</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL iBT88(Listening20, Writing24, Speaking22, Reading22),IELTS6.5</p>	<p>学年暦 ①9月～12月 ②1月～4月 ③5月～8月</p>
 <p>アメリカ カリフォルニア大学 University of California</p> <p>・バークレー校 ・デビス校 ・アーヴァイン校 ・ロサンゼルス校 ・リバーサイド校 ・サンディエゴ校 ・サンタバーバラ校 ・サンタクルス校 ・マーセド校</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件</p>	<p>学年暦</p> <p>バークレー校、マーセド校:①8月～12月 ②1月～5月 その他:①9月～12月 ②1月～3月 ③4月～6月</p> <p>デビス校:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80, IELTS 7.0以上 ロサンゼルス校、サンディエゴ校:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 83, IELTS 7.0以上 その他:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80, IELTS 6.5以上</p>
 <p>アメリカ パデュー大学 Purdue University</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL iBT80(各20以上), IELTS6.5(各6.0以上)</p>	<p>学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月</p> <p>成績条件 GPA3.0以上</p>
 <p>アメリカ アラスカ大学 University of Alaska</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL iBT70又はIELTS6.5以上 ※TOEFL iBT65又はIELTS6.0(Listening6.0以上,Speaking5.5以上)以上でも応募が可能だが、集中英語講座を1つ受講しなければならない。</p>	<p>学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月</p>
 <p>アメリカ ハワイ大学マノア校 University of Hawaii at Manoa</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL ITP 520,TOEFL iBT 68, IELTS6.0</p>	<p>学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月</p> <p>成績条件 GPA2.5以上(院:3.0以上)</p>
 <p>アメリカ ワシントン大学 The University of Washington</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL iBT83(大学院:92), IELTS7.0</p>	<p>学年暦 ①9月～12月 ②1月～3月 ③3月～6月</p> <p>成績条件 GPA3.0以上</p>
 <p>アメリカ ノースカロライナ大学シャーロット校 University of North Carolina at Charlotte</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件) ※ただし、TOEFL ITP523, TOEFL iBT79, IELTS6.0以上を推奨</p>	<p>学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月</p>
 <p>アメリカ メリーランド大学カレッジパーク校 University of Maryland, College Park</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL iBT90(各22以上), IELTS6.5(各6.5以上)</p>	<p>学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月</p> <p>成績条件 GPA3.0以上</p>
 <p>アメリカ モンタナ大学 University of Montana</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 学部生:TOEFL iBT70, IELTS6.0 大学院生:TOEFL iBT92,IELTS7.0</p>	<p>学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月</p>
 <p>アメリカ ペンシルバニア州立大学 The Pennsylvania State University</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL iBT80, IELTS6.5</p>	<p>学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月</p>
 <p>アメリカ デンバー大学 University of Denver</p>	<p>指導言語 英語</p> <p>語学条件 TOEFL iBT80(各20以上), IELTS6.5(各6.0以上)</p>	<p>学年暦 ①9月～11月 ②1月～3月 ③3月～6月</p>
<h3>〈北欧〉</h3>		
 <p>フィンランド アアルト大学 Aalto University</p>	<p>指導言語 フィンランド語・英語</p> <p>語学条件 学部ごとに異なるため要確認</p>	<p>学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月</p>
 <p>フィンランド オウル大学 University of Oulu</p>	<p>指導言語 フィンランド語・英語</p> <p>語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、CEFR B2相当以上推奨</p>	<p>学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月</p>

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数などについては、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部/大学院毎に交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のホームページなどで確認してください。

※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。学内条件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。

※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は6月頃に行う予定です。

※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はホームページなどで確認してください。

※ 主な派遣先大学 & 派遣条件等詳細一覧

 <b>フィンランド</b> タンペレ工科大学 Tampere University of Technology	指導言語 フィンランド語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)
 <b>フィンランド</b> トゥルク大学 University of Turku	指導言語 フィンランド語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、CEFR B2相当以上推奨
 <b>スウェーデン</b> ウーメオ大学 Umeå University	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月	語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)
 <b>スウェーデン</b> スウェーデン王立工科大学 KTH Royal Institute of Technology	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月	語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)
 <b>スウェーデン</b> ウプサラ大学 Uppsala University	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月	語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)
 <b>スウェーデン</b> ストックホルム大学 Stockholm University	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月	語学条件 TOEFL iBT79, IELTS6.0(各5.5)以上
 <b>スウェーデン</b> チャルマース工科大学 Chalmers University of Technology	指導言語 英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月	語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)

〈欧州〉

 <b>イギリス</b> ヨーク大学 The University of York	指導言語 英語	学年暦 ①9月～11月 ②1月～3月 ③4月～6月	語学条件 学部ごとに異なるため要確認
 <b>イギリス</b> シェフィールド大学 The University of Sheffield	指導言語 英語	学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月	語学条件 学部ごとに異なるため要確認
 <b>オランダ</b> グローニンゲン大学 University of Groningen	指導言語 オランダ語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月	語学条件 学部ごとに異なるため要確認 (原則TOEFL iBT92以上、IELTS6.5以上が必要。TOEFL ITPは不可)
 <b>ドイツ</b> アーヘン工科大学 University of Technology Aachen	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月	語学条件 ドイツ語、英語:CEFR B1.1相当
 <b>ドイツ</b> ドルトムント工科大学 Technische Universität Dortmund	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月	語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件)
 <b>ドイツ</b> ゲッティンゲン大学 University of Göttingen	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～9月	語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件) ただし、ドイツ語で学ぶ場合CEFR B2相当が強く推奨される
 <b>ドイツ</b> ドレスデン工科大学 Dresden University of Technology	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月	語学条件 ドイツ語:CEFR B1相当 英語:CEFR B1/B2相当
 <b>ドイツ</b> ベルリン工科大学 Technische Universität Berlin	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月	語学条件 ドイツ語:CEFR B2相当 英語:CEFR B2相当(TOEFL iBT87, IELTS5.0)

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数などについては、年度ごとに更新される可能性があります。また、学部/大学院毎に交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のホームページなどで確認してください。  
 ※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。学内条件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。  
 ※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内募集は6月頃に行う予定です。  
 ※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はホームページなどで確認してください。

 <b>ドイツ</b> ミュンヘン工科大学 Technische Universität München	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月	語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件)	
 <b>ドイツ</b> ハイデルベルク大学 University of Heidelberg	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月	語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件)	
 <b>ドイツ</b> パダボーン大学 University of Paderborn	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月	語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件)	
 <b>ドイツ</b> ケムニッツ工科大学 Technische Universität Chemnitz	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月	語学条件 要確認	
 <b>フランス</b> パリ第7大学 Université Paris Diderot	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月	語学条件 フランス語:DELTA B2, DALF C1, TCF B1 (350点以上推奨), TEF Level 3 英語:要確認	成績条件 GPA3.0以上
 <b>フランス</b> レンヌ第1大学 Université Rennes 1	指導言語 フランス語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月	語学条件 CEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件)	成績条件 学部により異なる
 <b>フランス</b> レンヌ第2大学 Université Rennes 2 -Haute-Bretagne	指導言語 フランス語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～6月	語学条件 CEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ただし、CEFR B2相当が強く推奨される	
 <b>フランス</b> グルノーブル・アルプ大学連合 Communauté Université Grenoble Alpes	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ただし、フランス語で学ぶ場合CEFR B2相当が強く推奨される	
 <b>フランス</b> ストラスブール大学 Université de Strasbourg	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月	語学条件 フランス語:CEFR B1相当 (DELTA-DALF, TCF, TEF degree) 英語:TOEFL ITP500以上(学内条件)	
 <b>フランス</b> 国立応用科学院リヨン校 Institut National des Sciences Appliquées de Lyon	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月	語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ただし、フランス語で学ぶ場合CEFR B1相当が強く推奨される	
 <b>フランス</b> 国立中央理工科学校リヨン校 Ecole Centrale de Lyon	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月	語学条件 要確認	
 <b>フランス</b> リヨン高等師範学校 Ecole Normale Supérieure	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～5月	語学条件 文系:CEFR C1相当のフランス語能力(仏検1級程度) 理系:CEFR B2相当のフランス語能力(仏検準1級程度)及び十分な英語能力	
 <b>フランス</b> リヨン第2大学 Université Lumière Lyon 2	指導言語 フランス語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月	語学条件 CEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ただし、CEFR B1相当が強く推奨される	
 <b>フランス</b> サンティエヌ国立高等鉱山大学 Ecole Nationale Supérieure des Mines de Saint-Etienne (EMSE)	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～2月 ③3月～9月	語学条件 学部ごとに異なるため要確認	
 <b>スペイン</b> グラナダ大学 Universidad de Granada	指導言語 スペイン語・(英語)	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月	語学条件 CEFR A2相当以上のスペイン語能力(学内条件)	

東北大学からの留学  
短期海外研修SAPFL  
海外体験プログラム  
交換留学プログラム  
大学院生派遣プログラム  
学部研究科主催のプログラム  
留学のための各種サポート  
学内で国際交流  
国際交流・留学サポート

※主な派遣先大学 & 派遣条件等詳細一覧

 <b>ポルトガル</b> リスボン新大学 Universidade NOVA de Lisboa	指導言語 ポルトガル語・英語 語学条件 要確認	学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月
 <b>イタリア</b> フィレンツェ大学 Università degli Studi di Firenze	指導言語 イタリア語・英語 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のイタリア語能力(学内条件)	学年暦 ①9月～2月 ②3月～7月
 <b>イタリア</b> ミラノ工科大学 Politecnico de Milano	指導言語 イタリア語・英語 語学条件 要確認	学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月
 <b>オーストリア</b> ウィーン大学 University of Vienna	指導言語 ドイツ語・英語 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件) ただし、English Studies, Business, Economics, Statisticsは要確認	学年暦 ①10月～1月 ②3月～6月
 <b>スイス</b> スイス連邦工科大学 ローザンヌ校 École Polytechnique Fédérale de Lausanne	指導言語 フランス語・英語 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ただし、フランス語で学ぶ場合CEFR B2相当が強く推奨される	学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月
 <b>スイス</b> ジュネーブ大学 Université de Genève	指導言語 フランス語・英語 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ※Faculty of Psychology and Educational SciencesのみCEFR B2必須	学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月
 <b>チェコ</b> チェコ工科大学プラハ校 Czech Technical University in Prague	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT87, IELTS5.5, CEFR B2相当以上の英語能力	学年暦 ①10月～2月 ②2月～6月
 <b>ロシア</b> ノボシビルスク国立大学 Novosibirsk State University	指導言語 ロシア語・英語 語学条件 要確認	学年暦 ①10月～1月 ②2月～6月

〈アジア・オセアニア〉

 <b>タイ</b> アジア工科大学院 Asian Institute of Technology	指導言語 タイ語・英語 語学条件 要確認	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>タイ</b> チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	指導言語 タイ語・英語 語学条件 TOEFL ITP550, TOEFL iBT79, IELTS6.0 成績条件 GPA2.75以上	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>タイ</b> タマサート大学 Thammasat University	指導言語 タイ語・英語 語学条件 学部・プログラムにより異なる (TOEFL iBT 80, IELTS 6.5~, TOEFL ITP不可) 成績条件 学部・プログラムにより異なる SEASプログラムには英語の語学要件無し(学内条件であるITP 500点が必要)	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>シンガポール</b> シンガポール国立大学 National University of Singapore	指導言語 英語・(中国語) 語学条件 TOEFL ITP500以上(Faculty of Lawのみ) TOEFL iBT100, IELTS6.5又はTOEFL ITP600以上必要) 成績条件 GPA2.4/4.0	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 <b>インドネシア</b> インドネシア大学 University of Indonesia	指導言語 インドネシア語・英語 語学条件 TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80, IELTS 6.0(学部により要件が異なるため要確認) 成績条件 GPA3.0以上	学年暦 ①8月～12月 ②2月～6月
 <b>インドネシア</b> ガジャマダ大学 Gadjah Mada University	指導言語 インドネシア語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500以上(ただし550以上を推奨), IELTS 5.5 成績条件 GPA3.0以上	学年暦 ①8月～1月 ②2月～7月
 <b>インドネシア</b> ボゴール農科大学 Bogor Agricultural University	指導言語 インドネシア語・英語 語学条件 要確認(語学能力を問わないが、留学後インドネシア語のコースの履修が必要)	学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数などについては、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部/大学院毎に交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のホームページなどで確認してください。  
 ※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。学内条件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。  
 ※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内募集は6月頃に行う予定です。  
 ※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はホームページなどで確認してください。

 <b>インドネシア</b> ブラウィジャヤ大学 Brawijaya University	指導言語 インドネシア語・英語 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>マレーシア</b> マラヤ大学 University of Malaya	指導言語 マレーシア語・英語 語学条件 マレーシア語:要確認 英語:TOEFL ITP500以上(学内条件) ※Faculty of Business & AccountancyのコースのみIELTS 6.0, TOEFL 550が必要 成績条件 GPA3.0/4.0	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>韓国</b> ソウル大学校 Seoul National University	指導言語 韓国語・英語 語学条件 韓国語:KLPT Level 5, TOPIK Level 5以上推奨 英語:TOEFL ITP570, TOEFL iBT88, IELTS6.0以上 成績条件 GPA3.0/4.0	学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
 <b>韓国</b> 高麗大学校 Korea University	指導言語 韓国語・英語 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当 以上の韓国語能力(学内条件) 成績条件 GPA2.5/4.0以上	学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
 <b>韓国</b> 釜山大学校 Pusan National University	指導言語 韓国語・英語 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上の韓国語能力(学内条件) 韓国語で授業を受ける場合、TOPIK Level 4を推奨	学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
 <b>ベトナム</b> 貿易大学 Foreign Trade University	指導言語 ベトナム語・英語 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、TOEFL ITP605, TOEFL iBT65, IELTS5.5が強く奨励される 成績条件 GPA2.8/4.0	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月
 <b>中国</b> 清華大学 Tsinghua University	指導言語 中国語・英語 語学条件 中国語:HSK旧6級,又はHSK新5級以上 英語:TOEFL ITP500以上(学内条件)	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>中国</b> 北京大学 Peking University	指導言語 中国語・英語 語学条件 中国語:HSK新6級(各75)以上 英語:TOEFL ITP550, TOEFL iBT90, IELTS6.0	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>中国</b> 復旦大学 Fudan University	指導言語 中国語・英語 語学条件 中国語:HSK6(score above 200) 英語:TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0 成績条件 GPA3.0以上	学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月
 <b>中国</b> 上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University	指導言語 中国語・英語 語学条件 中国語:HSK5以上 英語:TOEFL iBT90, IELTS6.0 成績条件 GPA3.0/4.0	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 ③6月～7月
 <b>台湾</b> 国立台湾大学 National Taiwan University	指導言語 中国語・英語 語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当以上の中国語能力(学内条件)	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>台湾</b> 国立政治大学 National Chengchi University	指導言語 中国語・英語 語学条件 中国語:TOCFL Superior, CEFR B2, HSK4級相当を推奨 英語:TOEFL iBT79, IELTS 6.0 成績条件 GPA2.5以上	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 <b>オーストラリア</b> シドニー大学 The University of Sydney	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT 85(Writing19以上, Reading, Listening, Speaking17以上), IELTS 6.5(各6.0以上) 成績条件 GPA3.0以上	学年暦 ①7月～11月 ②3月～7月
 <b>オーストラリア</b> ニューサウスウェールズ大学 The University of New South Wales	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT90(Writing 23以上, Reading, Listening, Speaking 22以上), IELTS 6.5 (各6.0以上) 成績条件 GPA3.0以上	学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月
 <b>オーストラリア</b> メルボルン大学 The University of Melbourne	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT79(Writing21,Speaking18,Reading, Listening13以上), IELTS overall score 6.5(各6.0以上) 成績条件 GPA3.0以上	学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月
 <b>オーストラリア</b> オーストラリア国立大学 The Australian National University	指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT80(Reading, Writing20以上, Speaking, Listening18以上), IELTS6.5(各6.0以上), TOEFL ITP不可 成績条件 GPA3.0以上	学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月

東北大学からの留学

短期海外研修SAPFL

海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート



派遣国 アメリカ  
派遣大学 カリフォルニア大学デイビス校  
開催期間 2016年9月～2017年3月

## カリフォルニアの大自然に 触れながら、世界で活躍できる 自信がつく素敵な体験です。

### 宇宙飛行士を目指し、カリフォルニア大学デイビス校へ

「宇宙飛行士になりたい」小学四年生の時、野口宇宙飛行士がディスカバリー号で宇宙へ行くのをテレビ中継で見てから固く決意してきました。カリフォルニア大学デイビス校には、元NASA宇宙飛行士の教授がいます。彼のもとで、最先端に行くアメリカの宇宙探査について体感したくて留学を決めました。実際に、日本と比べてスケールの大きい火星有人探査について学ぶことができました。さらに、その後、Space System and Satelliteクラブに所属し、CubeSatという小さな人工衛星を作る課程を体験することもできました。

### 他大学の学生との交流

留学して驚いたのが、意外と日本人が多いということでした。しかし、同じ日本人の大学生であっても、大学も違えば、専門科目も違います。仙台にいたら知り合うことのできない、早稲田大学、慶応大学、立命館大学、東京大学、明治大学、東京理科大学、大阪大学、京都ノートルダム女子大学、津田塾女子大学などの日本全国から来た学生たちと、慣れない文化に疲れたときには集まって語り合いました。彼らと過ごす中で、学校の帰りにインターンシップに行くのが当たり前など、都市圏で学生生活を過ごす人たちの新しい価値観を学びました。日本人留学生が集まった際には、私は東北大学代表として見られていたので、東北大学の研究に集中できる環境をアピールしていました。航空宇宙工学を専攻した日本人は私だけだったので、普段は日本人学生とは会いませんでした。それだけに、たまに日本人と話をすると自分が異文化を体験している再認識になり、生活にメリハリが生じて嬉しかったです。また、Global Ambassadorプログラムに参加して、日本代表として文化の紹介をしていました。この活動により、他国からの留学生とも議論を重ねる機会を得ることができました。たくさん活動に参加した結果、留学の終わりには、「Most Outgoing Mentee」賞を受賞しました。

### カリフォルニアという土地

自然とテクノロジーが共存しているカリフォルニアはワクワクする場所がたくさん存在しています。自然に関して述べると、9つ以上の国立公園が存在するほど大自然が広がっています。その一方で、シリコンバレーのような、ITベンチャー企業が集合する土地も存在しています。映画で有名なハリウッドや、ディズニーランドなどのアトラクションもあります。夕湖でスキーをしたり、サンフランシスコで世界会議のボランティア活動をしたり、ハリウッドスターに駐車場で偶然会ったり、大学以外の場所でもカリフォルニアを体感することができました。また、留学中に、大統領選挙があり、リベラル派が多いカリフォルニアでは、トランプ大統領に対するデモ活動が盛んでした。このデモ活動の観察を通して、私が最も感動したのは、日本ではあまり見かけない、個人の意思をきちんと国に表示するという、その行動でした。カリフォルニアという土地から、焦らず楽しみながら自分のしたいことを見極める術を学びました。

#### ▶ 滞在先について

2階建てのシェアハウスに二人で住んでいました。部屋は別でしたが、トイレ、お風呂、キッチンが共有でした。日本から持ってきた自転車で、学校から15分のところから通っていました。秋semesterが終わった時、ハウスマートが入れ替わりました。最初のハウスマートは、上海からの女の子、冬から来たハウスマートは香港からでした。夜遅くまで、中国と日本の関係について話し合うこともあり、中国の歴史についてとても興味を持ちました。

工学部  
学部3年(留学開始時)  
小仲 美奈さん



#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
起床	宿題・登校	授業	自由時間	授業	昼食	授業	自由時間	Space system and satellite clubで部活動	下校	夕食	ハウスマートと仲間	シャワー							就寝



派遣国 ベトナム  
派遣大学 貿易大学  
開催期間 2017年1月～7月

## ベトナムは 自分を成長させるのに 最高の国です。

### なぜベトナムなのか

私がベトナムに留学した目的はカオスな環境に身を置くことで自己の成長を達成すること、またビジネスに関して知識を蓄えることの2つです。まず自己の成長についてですが、ベトナムは経済発展の途中であり未だに社会の中には整備の進んでいないところが存在します。そのような環境下で生活を送ることにより自分を成長させようと思いました。またビジネスの知識の習得は、ベトナムは日本からの資本投資が進んでいる国の一つで多くの日系企業や日本人起業家がビジネスを展開しており、彼らから直接話を聞くことでビジネスの知識を蓄え、また経済の専門大学である貿易大学での学習を通してより専門的な経済学を学ぼうと考えました。

### 留学で何を学んだか

ベトナム留学を通して達成できたのは、ビジネスへの知識の習得とやりきる力の体得です。ビジネスに関する知識については、営業のインターンシップを通して達成できたと思います。ベトナムでビジネスを展開している企業に営業に行き直接話す機会がたくさんあり、起業する際に生じた問題の対処法やお客さんにどうアプローチするかを獲得できたと思います。また貿易大学では、経済学に精通した仲間と一緒に勉強をするので、彼らとのディスカッションを通して新しい知識が入り、また授業でも非常に専門的な内容を教えるので経済を深く学ぶことができました。やりきる力に関しては、営業インターンを初めて1ヶ月半、初めは全く契約が取れませんでした。しかしここで諦めたら「ベトナムで成長する」という当初の目標を達成できないと思い努力を続け、最後の月には会社で一番多く契約を取ることができました。

### 成長するための留学という選択肢

多くの人が語学留学をする中で私は自分の成長に重点を置いて留学しようと決めました。ベトナムで多くの逆境を経験しつつもあきらめず前に進んだことは大きな自信につながり、現在の大学生活に確実に生きています。もし今の生活に満足していないなら思い切って留学してみるというのはどうでしょうか。

#### ▶ 滞在先について

滞在先はアパートでした。前に住んでいた東北大学の先輩が退去する際にアパートをそのまま引き継ぐ形で住み始めました。一人暮らしで、大学までは徒歩10分、バイクで3分です。家具などは一式揃っており、生活するには十分なアパートです。

経済学部  
学部2年(留学開始時)  
根岸 太上さん



#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床			学校						インターンシップ				夕食	予習	自由時間			就寝

Cooperative Laboratory Study Program Outbound

## COLABS (自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム)

COLABSの特徴は、派遣先大学の指導教員の指導のもと、自身のテーマに沿った研究活動を中心とした留学ができることです。海外での学術経験を積むことができるだけでなく、海外の研究者との人的ネットワークを築くチャンスとなります。COLABSプログラムによる研究成果を基に、海外の一流の学術誌に論文を掲載された学生もいます。一方、東北大学の指導教員を交えて、自身で留学計画を策定し、留学希望大学の指導教員から受入許可を得る必要があり、強い主体性が求められます。

### 参加対象

- ①自然科学系研究科の大学院生
- ②自然科学系研究科に進学見込みの学部4年生
- ③6年生課程の5年生以上(ただし、特別プログラムは4年生以上)

自然科学系研究科 | 理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学研究科、環境科学研究科、医工学研究科

奨学金情報 | 成績優秀者に月額6~10万円の奨学金を支給予定(▶P37 JASSO奨学金)

## セメスター型

### 1学期から1年間の研究センター型留学プログラム

COLABSセメスター型の特徴は、基本的に大学間または部局間協定機関に対して交換留学生の身分で受入申請をすることです。そのため、学内選考を経た上で、留学先大学の定める期限までに、所定の方法で申請をする必要があります。また、語学要件等が設定されている場合、それを満たす必要があります。交換留学生として在籍することにより、長期間滞在のためのビザ取得のサポートや、授業料免除、学生寮の紹介等を受けることができます(一部例外もあり)。なお、大学間または部局間協定機関以外に留学を希望する場合、交換留学生の身分は付与されないため、留学先での在籍身分の有無やその種類、(何らかの在籍身分が存在した場合)それを得るための申請方法・期限等について、また、交換留学生であれば一定の保証がなされるビザ取得のサポートや、授業料免除、学生寮紹介の有無等についても全て自身で確認の上、手続きを行う必要があります。

派遣地域・大学 | 大学間協定機関または部局間協定機関、もしくは左記以外の希望する教育・研究機関

期間 | 1学期~1年間(最短3ヶ月)

## 集中型・ワークショップ型

### 3ヶ月以内の研究センター型留学プログラム

COLABS集中型・ワークショップ型の特徴は、留学先大学での在籍身分について、自身が、派遣先大学の指導教員に確認する必要があることです。滞在期間の短さから、在籍身分を得る必要がないことも多いですが、留学先での活動形態や、各国・大学・研究室ごとにより事情は異なります。

#### 集中型

派遣先機関の研究者の指導の下、研究活動に従事します。

#### ワークショップ型

派遣先機関等で開催されるワークショップや研究会への参加だけでなく、研究活動やフィールドワークなどの調査を行うこともできます。

派遣地域・大学 | 大学間協定機関、または部局間協定機関、もしくは左記以外の希望する教育・研究機関

期間 | 【集中型】1ヶ月~3ヶ月未満  
【ワークショップ型】10日~1ヶ月未満

## COLABS体験レポート

南米の地で自身の研究課題への期待を実感するとともに、海外の女性研究者から沢山刺激を受けました。



農学研究科  
博士前期課程2年(留学開始時)

**舛水 由季**さん

派遣国 | アルゼンチン  
派遣大学 | トクマン大学  
留学期間 | 2016年10月

アルゼンチン独立200周年の記念すべき年に、トクマンで国際シンポジウム優秀ポスター賞を受賞

私は、大学院修士2年生になったばかりの春に、指導教員のバックアップもあり、学生最後の1年をさらに充実した有意義なものにしたいと思い、研究室の共同研究先であるアルゼンチンの国立乳酸菌研究所及びトクマン大学へ2度目の短期留学を決意しました。アルゼンチン国立乳酸菌研究所は、乳酸菌に特化した世界でも珍しい国立の研究所であり、在籍する研究者の8割以上が女性で、乳酸菌に関する多方面の研究が展開され多くの成果をあげています。

今回留学した時期は、アルゼンチンがスペインから独立してちょうど200周年という記念すべき年で、またトクマンが独立宣言をした歴史的な都市であったこともあり、街全体が祝賀ムードの中、留学先で大学院の特別コース講義を受講しました。さらに自身の研究成果について第5回国際乳酸菌シンポジウム(SIBAL2016)で発表する機会が得られました。

国際乳酸菌シンポジウムは3日間を通して行われ、トクマン大学の学生や国立乳酸菌研究所の研究者はもちろんのこと、海外から多くの研究者が集まり活気に満ちていました。私は異文化の壁を感じながらも自身の研究を少しでも理解してもらいたい一心で、沢山のデータをまとめた1枚のポスターの前で、多くの方々に足を止めてもらえるよう声をかけ、一生懸命英語で説明しました。その甲斐もあり、ポスター部門136演題中3演題の優れた発表として選出され優秀ポスター賞を受賞することができました。留学中に、初めての海外発表で荣誉ある賞を頂くことができ、驚きでいっぱいでした。そして、何よりも海外の研究者とじっくりとディスカッションをし、新たなアイデア交換する機会を得た上に、自分の研究を「素晴らしい研究だ」「非常に面白い」と褒めてもらえた喜びは、研究を一生懸命やってきたと思った瞬間でした。海外留学で研究交流や学術発表をするまでは不安も多くありましたが、COLABS派遣プログラムのお陰で、大変貴重な経験をして、一回り成長することができました。この経験は一生の宝であり、今後の自身のさらなる成長に役立つものと信じています。



#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床朝食	登校	授業	Coffee Break	授業	昼食	授業	Coffee Break	授業	買い物	自主学習	夕食	帰宅・就寝						

留学を通して素晴らしい出会い、発見、成長がありました。



工学研究科  
博士前期課程1年(留学開始時)

**青田 昇哉**さん

派遣国 | フランス  
派遣大学 | 国立応用科学院 リヨン校  
留学期間 | 2016年9月~2017年7月

新しい自分になる為の第一歩

私はCOLABSというプログラムを活用してフランス国立応用科学院リヨン校へ留学しました。COLABSは研究主体の留学プログラムで自らが受入希望先の教授と交渉し研究計画を立てるという特徴があり、留学前の準備はすべて自分が主体的に行わなくてはなりません。海外の人と連絡を取りながら計画を練ることはすごく大変でしたが、日本ではこのような機会はあまりないので留学準備も貴重な経験となりました。

留学先での研究室では教授をはじめ様々な人にサポートして頂き研究を行いました。研究を通して海外の研究者達がどのように考えているのか、どうやって研究を行っているかを肌で感じる事ができました。海外で研究を行ったという経験は、今後また海外に行くにしても日本で研究を行うにしても非常に有益な経験であり自分への自信へと繋がると感じています。

休日は向こうで作った友人と過ごしました。フランスには実に多くの文化背景の異なる人達が集まっています。フランス人、イタリア人、スペイン人、ブラジル人、中国人...etc. とにかく色々な国の人たちと会って沢山の話をしました。世界には様々な考え方があって、そういった思考の差異に触れることで自分の考え方に柔軟性と多様性が増えていき、裾野が広がっていくことを実感しました。インターネットが普及した昨今、様々な情報が簡単に手に入る時代になりましたが、やはり自分で見て聞いた知識は全く異なります。百聞は一見にしかずと言いますので、留学に興味を持っている方には是非新しい世界に挑戦して頂きたいと心から願っています。



#### Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床朝食	登校		研究		昼食		研究		帰宅	夕食		自由						就寝

東北大学からの留学

短期海外研修SAPFL

シヨト体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

Double Degree Program

## ダブルディグリー（共同教育）プログラム

### 東北大学と提携校の二つの修士レベルの学位取得を目指すプログラム

本プログラムの提携校はいずれも世界各国からエリートを集めて高度な教育を実施している高等教育機関です。将来世界を舞台に活動するために必要となる実質的な専門知識、研究能力、国際性、異文化対応力の養成が期待できます。ダブルディグリープログラムを成功させるには、まず、応募時から修士課程修了までを対象期間とした、授業履修・研究計画(学位論文との関連性を含む)を、東北大学での指導教員とよく相談しつつ構想することが肝要です。その上で、構想した授業履修・研究計画の達成に資する留学先大学・受入指導教員(研究室)を決定します。留学希望者、東北大学での指導教員、留学先大学での指導教員の3者において、構想した授業履修・研究計画の中でのダブルディグリープログラム参加の位置づけを明確にし、留学先大学での具体的な授業履修・研究計画を考案しましょう。その際は、留学先大学の英語での開講科目の数や、論文作成～審査～発表のスケジュール、両校間での単位互換の可能性等(これらは留学先大学や、受入指導教員の所属する研究科等により個別に定められているものです)について、よく確認しておくことが大切です。国立中央理工科学校とのダブルディグリープログラムでは、学部3年次の途中から渡仏し、国立中央理工科学校における5年間のプログラムのうち1年次および2年次を履修します。帰国後は、本学学部4年次および博士前期の課程2年を経て両校の学位を取得します。国立応用科学院リヨン校、スウェーデン王立工科大学とのダブルディグリープログラム、および清華大学との共同教育プログラムでは、本学の博士前期課程に進学後に留学し、提携校で授業履修や研究を行います。帰国後は、本学博士前期課程修了に必要な研究などを行った後、両校の学位を取得します。

### ダブルディグリー（共同教育）体験レポート

どんなに追い詰められても所詮は恥をさらすだけ、そう思えるようになれば何も怖くないです。



理学研究科  
博士前期課程1年(留学開始時)

**中村 悠馬**さん

派遣国 中国  
派遣大学 清華大学  
留学期間 2015年8月～2017年7月

#### 「逃げないメンタリティ」とは何かを学ぶ

私は、自身にとって東北大学プログラムの中でダブルディグリーが一番チャレンジングだと思い参加を決意しました。覚悟したとおり、同時に英語、中国語、研究の3つの課題と苦闘し続ける留学生活になりました。特に研究では思うように研究成果が出ない状態が続く精神的に滅入り、研究に手がつけられない時期がありました。立ち直るきっかけは、「一番大事なのは、逃げないメンタリティ」という留学中に参加していたインターン先の方の言葉を思い出したことで、その時に自分のネガティブな思考は逃げ出したい感情から来ていると気づき、「逃げないメンタリティ」の真意に気付けたように感じました。その後はネガティブな感情が込み上げてきても逃げずに向かいあう強さを身につけ、今ではどんなに追い詰められても所詮は恥をさらすだけという聞き直った心構えができました。今思えば、何事も壁にぶち当たってからが本番だと思います。

#### 自分の強みを理解し、留学先でプレゼンスを作る

留学先の研究室では存在感を出すために自分自身のValue Makingを強く意識しました。私の場合は持ち前のタフネスと積極性を武器に骨の折れる計算ソフトのプログラム改造に取り組んだり、自ら教授に頼み込んで研究室の同期の中でいち早く国際学会での発表のチャンスを得たり、また、学会を通して学んだ研究分野のトレンドの最前線を研究室にシェアしたりするなど様々なアクションを起こして自分のプレゼンスを高めていきました。

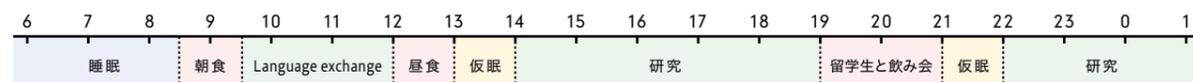
#### 海外から見た日本を知る

日本という国について、海外から見ると新しい視点が見えてきます。中国留学では、特に歴史的視点の違いを経験することが多かったです。例えば、日本の戦時中の歴史については我々が中高で学んだ教科書一行分の出来事が中国では書籍として事細かく取り上げられていました。こうした経験が日中の歴史観の違いを実感するきっかけとなり、中国人が学んできた日中関係の歴史に興味を持つようになりました。歴史問題は正解がありませんが、両者の主張を知っておくことでメタな視点を持つように心掛けました。

#### ▶ 滞在先について

留学生と現地中国人学生が半々と共同生活をする大学内の寮に住んでいました。寝室が別で、トイレ、水道、ソファがあるコモンスペースを二人で共有していました(東北大学のユニバーシティ・ハウス三条寮に近い環境)。寮内でウェルカムパーティやハロウィン、クリスマスなどのイベントがあり、国際交流・現地学生との交流の両方の機会に恵まれました。そのため、研究室に限らず寮内でも英語・中国語を使う機会を作ることができました。

#### Schedule



※あまり知られていませんが、中国には午睡と呼ばれるシエスタ文化があります！

奨学金情報	東北大学基金グローバル海外留学奨励賞への応募が可能(▶ P37)
派遣地域・大学	フランス・国立中央理工科学校(Ecole Centrale)5校 国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon) スウェーデン・スウェーデン王立工科大学 中国・清華大学
期間	1年半程度
参加対象	一部の自然科学系博士前期課程に進学見込みの学部生 (派遣先により派遣時期、対象学部・学科・専攻が異なる)

### [各大学の募集時期と応募条件(予定)]

#### 国立中央理工科学校 フランス

対象研究科	理学、工学、情報科学、環境科学	応募時期	学部(理、工)2年次の10月～12月
語学要件	授業履修・研究を行うのに十分なフランス語力及び英語力	派遣時期	学部3年次の8月

#### 国立応用科学院リヨン校 フランス

対象研究科	理学、工学、情報科学、環境科学	応募時期	学部(理、工)4年次の10月～12月
語学要件	TCF 350	派遣時期	博士前期課程1年次の8月

#### スウェーデン王立工科大学 スウェーデン

対象研究科	工学、農学、情報科学、環境科学	応募時期	学部(工、農)4年次の10月～12月
語学要件	授業履修・研究を行うのに十分な英語力 (TOEFL ITP550, TOEFL iBT79, IELTS6.0(各5.0)以上)	派遣時期	博士前期課程1年次の8月・9月

#### 清華大学 中国

対象研究科	理学、工学(一部対象外の専攻あり)、情報科学、環境科学	応募時期	学部(理、工)4年次の10月～11月中旬頃
語学要件	授業履修・研究を行うのに十分な英語力	派遣時期	博士前期課程1年次の8月・9月



東北大学からの留学

短期海外研修SAPFL

海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、学部・研究科が独自に留学プログラムを実施している場合があります。

経済学部・経済学研究科

研究・課題解決型海外短期派遣プログラム

- 対象者 経済学部学生・経済学研究科の学生
- 募集人数 20~30名程度
- 派遣先 部局間協定校
- 派遣時期 夏季 8~9月、春季 2~3月 約2週間
- 単 位 経済学部専門科目(2単位)
- 問合せ先 経済学部・経済学研究科 国際交流支援室 (▶ P38)



医学部

基礎医学修練

- 対象者 医学部医学科 3年生
- 募集人数 20~30名程度
- 派遣先 海外の大学・医学研究機関
- 派遣時期 10~2月頃(配属期間は年度により異なることがある)
- 単 位 医学部専門教育科目「基礎医学修練」(10単位)
- 問合せ先 医学部教務室 学部教務係 ☎022-717-8009  
✉ med-kyo2@grp.tohoku.ac.jp



高次臨床修練

- 対象者 医学部医学科 6年生
- 募集人数 20~30名程度
- 派遣先 海外の病院
- 派遣時期 4~9月頃(配属期間は年度により異なることがある)
- 単 位 医学部専門教育科目「高次臨床修練」(10単位)
- 問合せ先 医学部教務課 学部教務係 ☎022-717-8009  
✉ med-kyo2@grp.tohoku.ac.jp



工学部・工学研究科

学生国際工学研修

- 対象者 工学部・工学研究科の学生
- 募集人数 15名程度
- 派遣先 海外の学術交流協定校等(年により異なるが、主に欧州)
- 派遣時期 9月中旬頃(1週間程度)
- 単 位 工学部専門教育科目「国際工学研修」※申請による
- 問合せ先 工学部・工学研究科 国際交流室 (▶ P38)



※ここに紹介するプログラムはあくまで一例であり、また、2017年度の情報です。実施の有無および内容は年度により異なる、または変更する場合があります。※プログラム内容や応募方法などの詳細は、各担当係に直接確認してください。

全学生対象のサポート

★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

グローバルラーニングセンター

▶ P38

★留学アドバイジング

要予約

グローバルラーニングセンターが主催する各種プログラムや海外留学全般に関するさまざまな疑問に、国際経験豊かなグローバルラーニングセンター教員がお答えします。留学に興味はあるけれど不安がある場合や、海外留学プログラムや留学に関する最新情報を得たい場合など、お気軽にご連絡ください。

- 実施日 週5日 ※曜日毎に担当教員が異なる
- 予約方法 希望日の3日前(土日を除く)までにメール送信(詳細はHP参照)
- 場所 川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター西棟3階 各教員室

曜日	時間帯	アドバイザー	主な担当	メールアドレス
月	11:00~13:00	末松 和子	北米地域	suematsu@insc.tohoku.ac.jp
火	11:00~13:00	高橋 美能	欧州地域	mino.takahashi.c3@tohoku.ac.jp
水	11:00~13:00	坂本 友香	北欧地域	yuka.sakamoto.a3@tohoku.ac.jp
木	11:00~13:00	渡部 由紀	アジア・オセアニア地域	yuki.watabe.c6@tohoku.ac.jp
金	12:00~14:00	粕壁 善隆	COLABS	kasukabe@insc.tohoku.ac.jp

▶ アドバイザーからのメッセージ

北米地域担当  
末松 和子

アメリカの広大なキャンパスで、最先端の教育・研究に触れ、活発なキャンパスライフを送りたい人にお勧めです。世界共通言語の英語の習得はもちろん、様々な文化背景を持つ人たちと切磋琢磨することで、多様な価値観とコミュニケーション力を身につけることができます。将来、グローバル社会で活躍したい人、英語を使って仕事をしたい人、北米留学を検討してみてください。なお、東北大学の北米協定校の多くが、TOEFL iBTやIELTSを語学要件にしているため、計画的に準備を進めてください。

欧州地域担当  
高橋 美能

欧州協定校の学部の授業は、現地の言語で開講される場合が多いですが、ドイツの大学のように、英語で開講される科目がある場合もあります。また、大学院では英語で研究を行うことができる大学も増えてきています。イギリスの大学へ留学を希望する場合は、IELTSの受験が必須となりますので注意してください。欧州の協定校への留学は、現地の言葉で学びたい人はもちろんのこと、ヨーロッパの国々を旅し、体験したい人、ヨーロッパの価値観を学びたい人にお勧めです。

北欧地域担当  
坂本 友香

東北大学は、フィンランドの4大学(アアルト大学、オウル大学、タンペレ工科大学、トゥルク大学)、スウェーデンの5大学(ウーメオ大学、ウプサラ大学、王立工科大学、ストックホルム大学、チャルマース工科大学)と協定を締結しています。北欧の大学の特徴は、英語開講科目が多いこと、ディスカッション、グループワークを通して学生が主体的に学ぶことです。北欧の協定校は、教育や福祉、工学などについて英語で学びたい方、英語が標準的に通じる環境で留学生活を送りたい方にお勧めです。

アジア・オセアニア地域担当  
渡部 由紀

日本の若者の内向き志向が問題視されていますが、アジアで学び、働く日本の若者の数は近年増加傾向にあります。東北大学は巨大な世界の成長センターである中国・インド、ASEAN地域の発展をリードするシンガポール・タイ・インドネシア・ベトナム、日本の中小企業の進出が進むスリランカ、そして東アジアに位置し深い交流関係を築いてきた韓国・台湾・モンゴルに協定校があります。また、地理的にアジアと近く、様々な面で関係性の強いオーストラリアとニュージーランドでは、世界大学ランキングトップ100の4大学と協定を結んでいます。21世紀はアジアの時代と言われています。躍動するアジアで、その国のトップ大学の学生と共に学ぶ留学を是非考えてみてください。

COLABS担当  
粕壁 善隆

自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム(COLABS)という研究中心プログラムをご存知ですか。大学院進学が決まった学部学生、大学院生が、研究スケジュールに合わせて研究派遣留学をすることができるプログラムです。COLABSに限らず、大学院国際共同教育での学位取得留学、自然科学系で研究中心の留学を考えている人、特に海外協定校の研究室でワールドクラスの研究者と共同研究し飛躍しようと考えている人は、是非、相談してください。

▶ 留学アドバイジング 体験レポート



文学部  
学部3年  
石積 耕一さん

留学を充実したものに

私は、交換留学中の学習・活動計画を具体的にすることと留学への不安を解消することを目的に留学アドバイジングを利用しました。アドバイザーの先生方からは、自分の計画の至らない点への適切な指摘を得たり、留学のみならず、その後のキャリアを含めた相談に乗ってもらったりすることができました。また、不安に感じていた部分を解消するための行動を一緒に考えたり、身近な留学経験者の先輩を紹介してもらったりしました。留学アドバイジングを通し、留学計画をより良いものにするのと同時に、留学に対してより前向きになることができました。留学をより充実したものにしたい方、留学に不安を感じている方は是非利用してみてください。

東北大学からの留学

短期海外研修(SAPFL)

海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

▶ 全学生対象のサポート ★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

グローバルラーニングセンター ▶ P38

**★GCS留学カウンセリング** 要予約

交換留学等の留学経験を持つ現役学生、「グローバルキャンパスサポーター(GCS)」が、実際の留学生活や申請方法、留学後の就職活動や進路などの質問・相談にお答えします。

予約方法 **メール送信** ✉ [gcs2016counseling@gmail.com](mailto:gcs2016counseling@gmail.com)

場所 **川内南キャンパス 図書館本館1号館2階グローバル学習室**

▶ GCSカウンセリング 体験レポート



文学部  
学部2年  
**菅原 菜央さん**

私は、留学までに2回、GCSのカウンセリングを受けました。1度目は、1年生の冬に、具体的な申し込み時期や、留学に行ったら留年することになるのかなど、留学に対する漠然とした不安について相談しました。その際には、単位互換の方法、奨学金、留学を推奨してくれる研究室など、システム的なことに関して、同じ学部である文学部の先輩に相談することができました。留学経験者だからこそ知っているリアルな話を聞いて、自分も留学に行けるかもしれないという現実味が増しました。2度目のGCSカウンセリングでは、交換留学の2次募集の応募書類の作り方について相談しました。留学の志望理由が自分の中で整理できず、どのようにまとめれば選考を突破できる文章が書けるのかと悩んでいた私をGCSの方は丁寧なカウンセリングでサポートして下さい、そのおかげで学内選考を無事突破することができました。2018年1月から1年間、アメリカのノースカロライナへの交換留学に行ってきます！

- **東北大学留学フェア ～海外留学応援月間～** 5月  
毎年5月を「海外留学応援月間」とし、海外留学や語学学習等に係る各種説明会を連日開催します。
- **交換留学説明会&交換留学帰国者報告会** 5月、10月  
東北大学と大学間学術交流協定を結んでいる海外の大学(協定校)への交換留学について、制度の概要や応募の方法、協定校の選び方、学内サポート等の情報を提供します。また、世界中の協定校への交換留学から帰国した学生による報告会も同時に開催します。交換留学経験者の体験談を直接聞き、自身の参考にすることができます。
- **SAP(スタディアブロードプログラム)・FL(ファカルティレッドプログラム)募集説明会** 5月、10月  
夏(8・9月)及び春(2・3月)の参加者募集にあわせ、応募受付期間に各プログラムの概要を紹介する説明会を開催します。
- **SAP(スタディアブロードプログラム)・FL(ファカルティレッドプログラム)報告会** 4月、10月  
2018年に実施された、SAP10プログラム(アメリカ、カナダ、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、イギリスにて実施)、FL3プログラム(ドイツ、スペイン、ロシアにて実施)の参加者から体験談を聞くことができます。ご興味のある方は、是非ご参加ください。  
日時 **SAP:4月18日(水)、19日(木) FL:4月20日(金) 各日18:30~20:30**  
場所 **グローバルラーニングセンターHPに掲載予定**



▶ 各学部・研究科のサポート ★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

文学部・文学研究科 文学部・文学研究科教務係 ☎022-795-6005 ✉ [art-kyom@grp.tohoku.ac.jp](mailto:art-kyom@grp.tohoku.ac.jp)

**★個別留学相談会** 12月中旬  
国や大学をカテゴリー化し、少人数で実施します。約1週間にわたって国際交流オアシスにてランチタイムを利用して開催予定です。

● **留学説明会** 7月中旬  
一方通行の情報提供だけでなく、海外からの留学生や留学から帰国した学生との交流によって、具体的なイメージをつかんでもらうことができます。

法学部・法学研究科 国際交流支援室 ▶ P38

**★留学相談の日** 要予約

留学相談を受け付けています。留学先の大学での履修科目に関する情報や、海外での生活に関する疑問を解決したい学生は、是非お越しください。

時期 **毎週木曜12:00~14:00(時間外はメールにて要予約)** 予約方法 **メール送信**

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38

**★留学相談** 要予約  
留学経験者の報告書などを参考に、留学計画書を作成し、留学相談を行っています。

● **部局間留学説明会** 春・秋  
グローバルラーニングセンター主催東北大学留学フェア(▶P31)実施期間(5月)に1回、秋季に2回留学説明会を開催し、留学を奨励しています。

● **研究・課題解決型海外短期派遣プログラム説明会** 春・秋  
大学間や部局間で行われる、短期派遣プログラムの説明会及び留学報告会を行っています。

● **留学と就職** 夏  
留学経験を活かし、就職活動を行ったグローバル企業内定者による、留学中の英語上達法、コミュニケーションの取り方、インターンシップなどの体験談を報告しています。

国際交流オアシス ▶ P38

◆ **メール・Facebook・HPでの留学情報発信**  
海外留学経験者によるガイダンス・留学報告会等、最新情報をHPやメールで配信しています。  
メール配信登録方法 **Facebookページより申請** <https://www.facebook.com/国際交流OASISInternational-Oasis-1492773230751029/>

理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P38

**★留学相談** 予約不要  
各種プログラム等による海外留学に関する情報提供・相談を行っています。

医学部・医学系研究科 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉ [med-kyo2@grp.tohoku.ac.jp](mailto:med-kyo2@grp.tohoku.ac.jp)

● **海外留学報告会**  
医学科3年次対象の基礎医学修練(▶P29)、同6年次対象の高次医学修練によりアメリカ、カナダ、フィリピン等に短期海外留学をした学生による英語での報告会を行っています。

工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P38

**★留学アドバイジング** 要予約  
留学や海外研修プログラムに関する相談を受け付けています。  
予約方法 **国際交流室HPオンライン予約フォームから申し込み又は来室**

● **工学部・工学研究科留学説明会** 6月、11月  
留学制度や手続き、大学の選び方、費用、単位互換等、幅広い情報を提供しています。留学体験者による留学生活・体験談の発表もあり、希望者は個別に話を聞くこともできます。

◆ **メール・Facebook情報配信**  
留学、国際交流イベントなどに関する最新情報を配信しています。  
メール配信登録方法 **メールタイトルを「メーリングリスト加入希望」とし、下記項目を記入の上、工学研究科国際交流室宛てにメールで申し込み又は来室 ①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレス**

東北大学からの留学  
短期海外研修SAPFL  
海外体験プログラム  
交換留学プログラム  
大学院生派遣プログラム  
学部研究科主催のプログラム  
留学のための各種サポート

学内で国際交流  
国際交流・留学サポート

## TEA Tohoku University English Academy

東北大学ではより積極的に海外留学に挑戦し、グローバルに活躍できる人材を育成するため、TEA (Tohoku University English Academy) を設置しました。課外英語学習プログラム (TEA's English) や、英語学習アドバイジング、TOEFL ITP、TOEFL iBTなどの英語能力試験の受験機会を提供しています。TEA's Englishでは、Speaking、Writing、Listening、Readingの4技能を向上させ、実践的な英語を身につけることを目的としたTEA's English学期内プログラムと、長期休業期間中に短期で集中的に英語を学習するTEA's English集中プログラムを開講しています。詳細は、グローバルラーニングセンターHPで確認してください。

### TEA's English 体験レポート



工学部  
学部2年 (プログラム受講時)  
**鍋島 英秀** さん

**学期内プログラム (前期)**  
2017年5月8日～7月14日

私は3セメスターに開講されたTea's Englishを受講し、週に2回の授業を通して文法を学んだり、プレゼンテーションやエッセイの作成をしたりしました。「英文法を学ぶ」と聞くと高校の授業の延長をイメージするかもしれませんが、それとは全く異なる、ネイティブスピーカーによる「生きた英語」を学ぶことができました。また、プレゼンテーションやエッセイは大学生活において重要なスキルであり、はじめは「日本語でも大変なのに英語でなんて…」と萎縮していましたが、先生のアドバイスのおかげで成長できたと実感しています。さらに、授業を通して、違う学年・学部の人と知り合うことができました。普段接している人とは異なる視点で物事を見る彼らとの会話は興味深く、新たな考え方や価値観を知ることができました。英語を学びたいが機会がない方や、留学を考えている方は、Tea's Englishに是非参加してみてください。自分を1段階成長させる「何か」がそこにはあるはずです。



理学部  
学部1年 (プログラム受講時)  
**古川 美穂** さん

**夏季集中プログラム**  
2017年8月17日～8月30日

TEA's English を知ったきっかけは、入学時に配布されたパンフレットでした。その内容がとても興味深かったので、夏季休暇を利用して参加してみようと思い、今回は、提供されている4種類の講座の中から、Academic General Writingを受講しました。Writingの授業と言うと、黙々と机に向かうようなイメージがありましたが、実際には、ディスカッションなど、英語で話す機会が沢山あり、他の受講生との交流も活発に行われたため、とても楽しかったです。もちろん、Writingの指導も丁寧で、授業後に先生が1対1で添削をして下さる時間もありました。たったの10日間とは思えない程の充実ぶり、英語力が向上したという実感があってだけでなく、今後の英語学習へのモチベーションも上がりました。

### TOEFL® テスト

TOEFLスコアは、各種海外留学プログラムや語学学習講座等に応募する際に必要となる場合があります。これらの参加を検討している方は是非早めに受験してください。

### TOEFL ITP® テスト

#### 1 全学生対象有料受験

**対象者** 全学生 (非正規生を含む) **受験料** 3,560円  
**申込方法** グローバルラーニングセンターHPよりオンライン登録  
**実施予定日** 年4回: 5月23日 (水)、8月予定、10月10日 (水)、1月11日 (金)

#### 2 学部新入学生全員対象の無料受験

**対象者** 学部新入学生全員 **受験料** 無料 (大学負担)  
**実施予定日** 4月21日 (土) **申込方法** 入学後に掲示等で案内があります

#### 3 英語授業の一環としての無料受験

**対象者** 全学教育科目「英語B2-1/2」受講者全員 **受験料** 無料 (大学負担)  
**実施予定日** 12月1日 (土) **申込方法** 授業内で案内があります

### TOEFL iBT® テスト

**対象者** 全学生 (非正規生を除く) **受験料** 235USドル (2018年2月現在) ※予告なく変更となる場合あり  
**実施予定日** 年3回実施予定 **申込方法** オンライン登録のうえ受験料納入 (クレジットカードのみ)

※TOEFL、TOEFL ITP、TOEFL iBT および TOEICはエデュケーションナル テスティング サービス (ETS) の登録商標です。

グローバルラーニングセンター ☎022-795-7820 ✉sab\_query@grp.tohoku.ac.jp 🌐www.insc.tohoku.ac.jp ▶P38

### TEA 英語学習アドバイジング

要申込

英語力を伸ばすための学習方法アドバイスをELSの講師から個別に受けることができます。詳細はグローバルラーニングセンターHPをご覧ください。  
ELS…1961年から北米を中心に多数の学校を運営する実績を持ち、世界中の留学生に多彩なプログラムを提供している語学学校

### Global Café

申込不要

外国人留学生が先生となって教える語学と文化のミニ講座 (英語・タイ語・インドネシア語・ドイツ語・中国語などの言語で実施)

**開講** グローバルラーニングセンターHPで要確認 **場所** 川内南キャンパス 図書館本館1号館2階 グローバル学習室

### 教務課

全学教育実施係 ☎022-795-7558 ✉kyom-pec@grp.tohoku.ac.jp

### Practical English Course

要申込

英語指導経験が豊かな外国人講師による、ライティングやプレゼンテーション、ディスカッション能力の強化を目的とした実践的英語力を高めるための課外授業  
※申し込みにはTOEICまたはTOEFL ITPなど一定基準以上のスコアが必要です。

**募集** 6月頃 **開講** 10月～11月の土・日曜 (全8回) 1回150分 **対象** 全学生 (非正規生を除く) **受講料** 未定

### 国際交流オアシス

国際交流支援室 (DIEE) ▶P38

### HIRUDESUYO

申込不要

毎週火・木のお昼に開催。異文化交流の場として、毎週テーマを決め (例: ドイツフェスタ・日本文化体験・日本語でおしゃべり) お昼を食べながら、交流を行います。

**開講** 前期: 4月～7月、後期: 10月～2月 **対象** 全学生

### TOEIC対策コース

要問合

毎週火曜日4時から、TOEIC対策講座を開講しています。コース学習形式にしており、全10回でコース修了となります。

**開講** 前期: 4月～7月、後期: 10月～3月 **対象** 学生・教職員

### 工学部・工学研究科

国際交流室 (IEED) ▶P38

### English Communication

要申込

英会話、英語でのコミュニケーションにおいて重要な会話の始め方や終わり方、相槌、意見の述べ方など、様々な状況下で役立つネイティブ表現、発音矯正を含めたブラッシュアップを目指します。継続して出席することで着実に英語を使うことへの自信が養われます。

**開講** 前期: 4月～7月、後期: 10月～1月 **対象** 全学生 (自然科学系の学生優先)

### Presentation Design

要申込

工学部の外国人教員が担当し、学会での発表やディスカッションなどアカデミックな場面での実践を目指します。数々の国際的な工学経験を経た教員ならではの目線、世界から見た日本、日本人が持つ英語に対する苦手意識改革実現に向け、国際的な舞台上で研究を発表し自分をアピールするスキルを高めます。

**開講** 前期: 4月～7月、後期: 10月～1月 **対象** 全学生 (自然科学系の学生優先)

### 農学部・農学研究科教務係

☎022-757-4007 ✉agr-kyom@grp.tohoku.ac.jp

### Agriculture TGL Panch

申込不要

TGL登録学生が外国人留学生とともに昼休みの時間を利用して、ネイティブ講師の指導のもとで、積極的な英語のみによるコミュニケーションの中で多様な話題を通して、外国人との関係を築く能力を身につける週1回のイベント

**開講** 前期: 4月～7月 (予定)、後期: 10月～1月 (予定)

### 学習支援センター (SLAサポート室)

☎022-795-3374 ✉sla-support@grp.tohoku.ac.jp 🌐sla.cls.ihe.tohoku.ac.jp

### SLA de 英会話 ～「英会話カフェ」&「1on1英会話」～

予約不要

留学生・日本人の学生アドバイザー (Student Learning Adviser: エスエルエー) が、気軽に英語に親しむことができる機会を提供

- 英会話カフェ…複数人で英会話を楽しむタイプの会で、SLAが会をコーディネート
- 1on1英会話…マンツーマンで、利用者のニーズに応じた英会話

**開講** 授業期間中毎日 (時間は学期毎に異なる) **対象** 主に学部1・2年生 (学部不同) **参加費** 無料

**場所** 川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟1階 SLAラウンジ

▶ 海外からの学生との交流

100の国と地域から約2,160名の外国人留学生在が学ぶキャンパス

海外から多くの研究者や学生を受け入れている東北大学には、海外に行かずとも多文化を体験できる機会があふれています。学内で開催されるさまざまな国際交流行事を通し、外国人留学生などと交流を深めることができます。

グローバルラーニングセンター ▶ P38	
Tohoku University Science Summer Program (TSSP) ボランティア Tohoku University Japanese Program (TUJP) ボランティア 海外の協定校の学部生が参加するサマープログラムにおける、文化交流、地域社会との連携活動	TSSP:2018年6月18日～7月13日 TUJP第1期:2018年7月2日～7月17日 TUJP第2期:2018年7月23日～8月7日
募集 5月頃 窓口 ☎022-795-3745 ✉tujp@grp.tohoku.ac.jp	
文学部・文学研究科 教務係 ☎022-795-6005 ✉art-kyom@grp.tohoku.ac.jp	
文学部サマープログラムサポーター 海外の著名大学からの参加学生(20名程度)のサポーターとして演習や施設見学に同伴	6月～8月
法学部・法学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38	
外国人留学生との交流会 大学院生を対象とした、外国人留学生との交流会。大学院レベルでの研究等に関する意見や情報の交換をすることができます。	不定期
経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38	
国際交流イベント 外国人留学生との国際交流推進イベントと文化体験活動	フィールドトリップ:春・秋(年2回) 交流会:随時
留学生相談デスク 学業や人間関係、異文化適応など留学の様々な相談に応じています。	毎週月・金曜日(12時～14時まで)
理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P38	
留学生サポーター 10月に入学する外国人留学生の入学手続き補助等	9月中旬～10月下旬
歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携部門 ▶ P38	
留学生懇談会 歯学部・歯学研究科で学ぶ世界各国からの外国人留学生が中心となって企画する学生、教職員等との懇談会	4月下旬、10月下旬
短期受入留学プログラム 海外の協定校から学生を招いて長期休業期間中に実施するショートプログラム(1～8週間程度)の運営補助等	適宜
被災地実地研修プログラム 歯学部・歯学研究科の外国人留学生および日本人学生を対象とした東日本大震災被災地での実地研修	不定期
工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P38	
Tohoku University Engineering Summer Program (TESP) 海外の交流校から学生を招き、2週間のサマープログラムを開催しています。学生交流ボランティアは、参加学生をサポートするとともに、文化体験やフィールドトリップと一緒に参加することができます。詳細は6月頃に工学研究科国際交流室HPおよびフェイスブックで発表します。	7月下旬～8月上旬
申込方法 ①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレス	
国際交流イベント 餃子パーティー、手巻き寿司パーティーなど、一緒に作りながら飲食することで留学生と日本人学生の交流が深まる機会です。英語で作り方を説明したり、留学生に日本語を教えたりと、手を動かしながらの協働でネットワークが広がります。	参加費 500円前後 不定期
国際交流の旅 外国人留学生・研究者などを対象とした東北の隣県または県内への日帰り旅行への同行(英語で各名所や文化の説明)	2月頃 参加費 2,000円以下(昼食代)
海外訪問団との交流会 海外から学生訪問団が来る際に開催される、昼食会、工場見学や意見交換会などに参加	不定期
農学部・農学研究科 教務係 ☎022-757-4007 ✉agr-kyom@grp.tohoku.ac.jp	
留学生交流会 芋煮会など日本の文化を通じて、外国人留学生同士や日本人学生との交流を促進	不定期(年2回程度)
Friends for Lunch 毎日昼休みの時間帯に、Agriculture TGL Panchと同じ会場に外国人留学生と日本人学生が昼食を持って集まり、カジュアルな英会話による交流を楽しむランチタイム	平日の昼休み(12～13時)
国際文化研究科 教務係 ☎022-795-7556 ✉int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp ☎www.intcul.tohoku.ac.jp	
国際文化研究科国際交流の集い 国際交流への理解を深め、国際文化研究科内の交流を促進するための、外国人留学生、日本人学生・教員・職員の交流会	秋～冬頃
募集 適宜(実施日の1ヶ月前頃)	



▶ 東北大生による国際交流活動団体

学生が中心となって活動する語学や国際交流に特化した活動団体

グローバルキャンパスサポーター(GCS)

**団体概要** 交換留学等の留学経験を持ち、留学先で得た経験や知識をもとに、これから留学を目指す学生を支援する学生サポーターです。グローバルラーニングセンターと協働し、学生の視点でさまざまな留学支援活動・国際交流イベントを実施しています。

**活動内容** GCS留学カウンセリング(▶P31)、留学説明会等イベントにおける体験談発表・運営補助 等

☎www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/preparing/gcs/ | 📘www.facebook.com/GCS.tohoku

ESA-net (東北大学交換留学生同窓会)

**団体概要** 交換留学生同窓会はより多くの東北大学生に交換留学を経験してもらうために、経験者による関連情報の発信を行うことを目的として発足した団体です。留学準備から留学中、帰国後のキャリア支援までに関する情報発信/留学経験者、留学をしようとしている人たちの交流を目的としたイベントの実施/青葉山キャンパスを拠点とした留学相談 等

**活動内容** Facebookにて留学情報を発信しています。「東北大学交換留学」で検索!

✉tohoku.exchange@gmail.com | 📘www.facebook.com/tohoku.exchange

留学生支援団体 IPLANET

**団体概要** 人文・社会科学短期留学生受入プログラム「IPLA」の学生の留学生生活を支える学生団体です。イベント企画・運営に加え、外国人留学生に対する1年を通じての日常的なサポートが主な役割です。メンバーが主体となってゼロから企画を練り、活動を創り上げています。

**活動内容** 各種イベント(料理教室、日本文化体験、日帰り旅行、歓迎会、お別れ会等)及びGlobal Café(▶P34)の運営

☎tohoku.ipla@gmail.com | 📘www.facebook.com/iplanet.tohoku/

TUFSA・東北大学留学生協会(Tohoku University Foreign Students Association)

**団体概要** 東北大学留学生協会とは、外国人留学生と日本人学生の交流を中心に活動する団体です。TUFSAは、1965年に設立され、2015年に結成50周年を迎えました。外国人留学生と日本人学生の架け橋となるために日々活動を行っています。多様な文化に触れ、様々な価値観を共有したい方を募集しています!

**活動内容** 留学生の勉学や生活面におけるサポート、学内の国際交流推進、市民活動への参加、ニュースレターの配信、各種イベントの企画・運営(東北大学国際祭り、新入生歓迎会、ダンスパーティー、パディプログラム、スポーツ大会、チャリティ活動等)

※東北大学国際祭り:一般市民の方々も参加する大きなイベントで、世界各国の伝統料理や伝統舞踊の紹介、異文化体験コーナー等様々な催しを実施しています。

7月下旬に川内南キャンパス東北大学百周年記念会館(秋ホール)前広場で開催予定です。  
☎tufsacontact@gmail.com ☎www.tufsa.net/ | 📘www.facebook.com/tufsafanpage

TUMCA・東北大学イスラム文化協会(Tohoku University Muslim Cultural Association)

**団体概要** イスラム文化交流と友好関係の構築を目的に設立された団体です。多様なバックグラウンドを持った学生との交流により、イスラム教以外にも様々な国の独自文化を学ぶことができます。東北大学内の礼拝場やハラールフードなどにも相談できます。

**活動内容** イスラム文化を持った留学生及び日本人学生との交流

☎muslim.tohokuuniv@gmail.com | 📘www.facebook.com/TUMCA

留学生支援サークル @home

**団体概要** 留学生と日本人学生が交流することのできる架け橋となることを目指し、日々活動している団体です。1ヶ月に2回から3回のイベント運営を行い、メンバー全員で国際交流を楽しんでいます。

**活動内容** 外国人留学生と日本人が交流できるイベント「International Hour (IH)」の企画、留学生の日本での生活の手伝い、仙台市内の国際交流イベントへの運営参加など

☎athome.web.123@gmail.com ☎www.insc.tohoku.ac.jp/~athome | 📘https://www.facebook.com/athome.tohoku/

東北大学からの留学

短期海外研修SAPFL

シ海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

奨学金情報

東北大学の奨学金

東北大学基金 グローバル海外留学奨励賞

東北大学基金の事業として、海外の協定校などに留学する学業成績が優秀な学生を表彰するとともに奨励金を支給します。

- 支援内容 準備金15万～30万円、奨学金月額6～10万円 ※留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：4月下旬～5月（7月～12月留学開始）、9月～10月中旬（翌年1月～6月留学開始）
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

国際共同学位取得支援制度（国際共同教育プログラム）

海外大学との大学院レベルにおける国際共同学位（ダブルディグリー、ジョイントディグリーなど）取得を奨励するための支援制度です。

- 支援内容 海外渡航旅費（実費）、奨学金月額10～20万円 ※在籍課程・留学先地域により異なる
- 募集時期 年4回：留学開始時期による
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

各部署の独自奨学金

海外留学をする学生を対象に、学部・研究科によっては独自の奨学金や支援金（旅費等）を支給する場合があります。 **問合せ先** 所属学部・研究科

政府・民間団体等の奨学金

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

[www.tobitate.mext.go.jp/](http://www.tobitate.mext.go.jp/)

日本政府と民間企業が協働で取り組む海外留学支援制度は、2020年までに1万人を海外に送り出す計画です。日本再興戦略と産業界からの意向を踏まえて実践的な留学への奨学金を提供しています。派遣留学生は、事前・事後研修や留学中の体験、メンタリングを通じ、海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリストとして育成されます。帰国後は支援企業とともにグローバル人材コミュニティを形成し日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

- 支援内容 留学準備金15万又は25万円、奨学金月額12万円又は16万円 ※留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：7月～10月（翌年4月～10月留学開始）、12月～翌年3月（翌年8月～翌々年3月留学開始）
- 対象プログラム 授業料30万円又は60万円 ※支援期間により異なる ※家計の状況により奨学金月額が異なる場合あり
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に確認
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

日本学生支援機構 海外留学支援制度（JASSO奨学金）

交換留学の推進と国際性を有する人材の育成を目的として、日本学生支援機構（JASSO）が支給する奨学金です。採用者には、留学期間中毎月奨学金が支給されます。奨学金受給者数および対象者は、対象プログラムごとに異なります。

- 支援内容 渡航支援金16万円（一定の家計基準を満たす場合） 月額6～10万円（留学先地域により異なる）
- 対象プログラム 交換留学、短期海外研修（SAP/FL）、COLABS、海外体験プログラム、一部の部局主催プログラム等
- ※対象プログラムの参加者のうち、条件を満たす学生に支給するものであり、学生から申請できるものではありません。
- ※日本学生支援機構の貸与型奨学金「第一種奨学金」および「第二種奨学金」との併給が可能です。
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

各種奨学金団体などによる奨学金

民間の財団などが、海外留学予定者に支給する奨学金は、特定の留学形態（大学院正規留学、交換留学、インターンシップなど）、国、期間、出身地に限定されている場合があります。応募に大学の推薦が必要な場合があります。大学宛に募集案内がある場合は、グローバルラーニングセンターHPにてお知らせします。

- 経団連グローバル人材育成スカラーシップ
- 業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生
- TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム
- 大学宛に募集案内がない場合は、各自で情報収集および応募が必要です。以下サイトなどを参照してください。
- 海外留学支援サイト ▶ 海外留学のための奨学金 [ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/](http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/)

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム受給学生によるレポート

トビタテが、行動する背中を押してくれました。

工学研究科  
博士前期課程1年（留学開始時）  
**伊井 武**さん  
派遣国 デンマーク  
派遣大学 デンマーク工科大学  
海外インターンシップ先企業 Koyo Bearings Deutschland GmbH  
留学期間 2016年8月～2017年2月

トビタテでのヨーロッパ留学

「金銭的に手厚い支援を受けられ、多様な夢を持つ全国の大学生とつながることができる日本一アツイ留学支援制度」それがトビタテです。私はトビタテの支援を受け、5ヶ月間デンマーク工科大学で専門分野の摩擦学に関する学修をし、その後トビタテ支援企業のドイツ支社で1ヶ月間インターンを行いました。留学先では、専門分野や業務内容について議論することは非常に難しく、また様々な考えを持つ海外の人との共同生活は大変でした。しかし、渡航前研修でトビタテの仲間と留学計画をブラッシュアップしたことで留学先での行動指針が明確になり、プライドを捨て何度も質問したり、夕食会や異文化交流会で海外の人と交流する機会を作るなど、失敗を恐れず自発的に行動を起こすことができました。誰でもトビタテに合格するチャンスがあるので、是非思い切った一歩踏み出してください！きっと自分と向き合い、成長することができるはずです。

学内の国際交流・留学サポートオフィス

グローバルラーニングセンター・留学生課

- ☎022-795-7820（交換留学他プログラム全般・語学学習および語学試験関係）
- ☎022-795-4818（SAP関係）
- ☎022-795-4817（TGL関係）
- ✉sab\_query@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.insc.tohoku.ac.jp

教育学生総合支援センター 東棟2F 留学生課



法学部・法学研究科 国際交流支援室

- 川内南キャンパス 法学部棟3階
- ☎022-795-3740
- ✉kokusai@law.tohoku.ac.jp
- 🌐www.law.tohoku.ac.jp/global/support/

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室（DIEE）

- 川内南キャンパス 経済学研究科棟3階
- ☎022-795-7788
- ✉diee-keizai@econ.tohoku.ac.jp
- 🌐www.econ.tohoku.ac.jp/~KKS

理学部・理学研究科 国際交流推進室（DIRECT）

- 北青葉山キャンパス 理学研究科合同A棟3階302号室
- ☎022-795-5829
- ✉direct@mail.sci.tohoku.ac.jp
- 🌐www.sci.tohoku.ac.jp/direct/

医学部・医学系研究科 国際交流支援室

- 星陵キャンパス 医学部1号館4階
- ☎022-718-5091
- ✉int-exchange@med.tohoku.ac.jp
- 🌐www.med.tohoku.ac.jp

歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携部門

- 星陵キャンパス 臨床研究棟1階
- ☎022-717-8278
- ✉international@dent.tohoku.ac.jp
- 🌐www.dent.tohoku.ac.jp/field/liaison/03/index.html

工学部・工学研究科 国際交流室（IEED）

- 青葉山キャンパス 工学研究科中央棟2階
- ☎022-795-7996
- ✉ieed-eng@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.ied.eng.tohoku.ac.jp

情報科学研究科 国際交流推進室

- 青葉山キャンパス 情報科学研究科棟3階
- ☎022-795-4691
- ✉ilo@is.tohoku.ac.jp
- 🌐www.is.tohoku.ac.jp/introduction/ilo/index.htm

国際交流オアシス

- 文系総合講義棟1階
- ☎022-795-3270
- ✉international-oasis@econ.tohoku.ac.jp

東北大学からの留学

短期海外研修SAP/FL

海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

# 東北大学グローバルリーダー育成プログラム (TGLプログラム)

東北大学の特長である柔軟で強固な「専門基礎力」に加え、国際化する社会において、さまざまな分野でグローバルに活躍するために必須となる「グローバル人材としての能力」(語学力・コミュニケーション力、国際教養力、行動力)をバランスよく身につけることを目指した**学部学生対象の登録制**プログラムです。



TGLプログラムでグローバルリーダーの認定を目指す場合は、必ず一度は海外研鑽の経験が必要です。本ガイドブック内に掲載されている海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)をはじめとした海外留学プログラムの多くが、TGLポイントの対象となっており、一部のプログラムではTGL学生が選考の際に優先される可能性があります。そのため、なるべく早い段階でのTGL登録をお勧めします。

詳しくは

**TGLプログラムパンフレット** ▶

およびグローバルラーニングセンターHPを  
参照してください。



**東北大学グローバルラーニングセンター**

(教育・学生支援部留学生課)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41

☎022-795-7820 ✉sab\_query@grp.tohoku.ac.jp

[www.insc.tohoku.ac.jp](http://www.insc.tohoku.ac.jp)